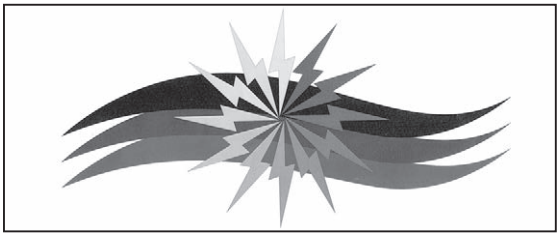
協会章



DENKAN

電気と水・空気の流れをイメージの中に採り入れ、自然との調和が図形の基本をなしている。電気・管工事の相互関係の緊密性を流線的に表現することにより、相互の独自性と発展性につなげるモチーフが協会章の意図になっている。

令和元年度実践スローガン

1. 県内業者への優先発注拡大強化と設備工事の分離発注をより一層推進しよう
2. 施工技術及び生産性の向上を図り、品質確保と安全施工に努めよう
3. 働き方改革を推進し将来を担う人材確保と育成に努めよう
4. 低炭素社会づくりを通じて地球環境保全を推進しよう

電管協会の案内

一般社団法人
沖縄県電気管工事業協会
（略称）電管協

公共工事に入札参加資格を有する
電気及び管工事業の団体

■創　　立：昭和 30 年 4 月
■会　員　数：134 社（R 2年1月末現在）
（電気）40 社
（管）33 社
（電気・管）42 社
（賛助会員）19 社
■従 業 員 数：3,919 名（R2年1月調査）
■正会員年商：約 810 億円（R2年1月調査）

《主な加入団体》（R2 年 1 月現在）

（一社）日本空調衛生工事業協会（正会員）
（一社）日本電設工業協会（正会員）
（一社）日本空調衛生工事業協会九州沖縄支部（正会員）
（一社）沖縄県建設産業団体連合会（正会員）
（一社）沖縄県建設業協会（賛助会員）
（一社）建築設備技術者協会（賛助会員）
（一社）公共建築協会（賛助法人会員）
沖縄県職業能力開発協会（正会員）
沖縄受信環境クリーン協議会（準会員）
（一社）沖縄県労働基準協会（正会員）
（社福）沖縄県社会福祉協議会（第 2 種会員）
（一財）沖縄県社会保険協会（正会員）
（一財）労災サポートセンター（賛助会員）
沖縄県警察官友の会（維持会員）
（公社）那覇法人会（正会員）
（一社）日本電気協会沖縄支部（正会員）
（公財）暴力団追放沖縄県民会議（賛助会員）

※（一社）：一般社団法人、（社福）：社会福祉法人、（一財）：一般財団法人、
（公社）：公益社団法人、（公財）：公益財団法人

新春を迎えて

働き方改革の取り組み成果に期待

（一社）沖縄県電気管工事業協会
会長　**松島　寛行**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また旧年中は、当協会の事業運営に格別なるご支援とご協力を賜わり衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年の出来事を振り返りますと、「令和」の時代の幕開けとなった記念すべき年でありましたが、全国では台風や豪雨による災害が多発し住民生活に深い爪痕を残しました。災害復旧については、建設企業や設備会社が大きな戦力となって活動しているところではありますが、被災されました皆様には改めてお見舞い申し上げる次第でございます。

また、本県においては首里城焼失という悲しい出来事がありましたが、多くの県民、企業がその再建への強い思いを持って新年を迎えられたことと思います。私ども電管協でも、微力ながら復元に向けた取り組みを進めているところであり、県民の皆様とともに前進してまいりたいと考えております。

さて、県内の景気は堅調に推移しており、先行きについても好調を維持するものとみられていますが、建設業界においても公共及び民間建設投資は順調に推移していくものと認識しているところであります。

しかしながら、建設業界の将来を担う人材不足については、依然として解消の兆しが見えず、大きな課題となっています。このため、国土交通省では、建設業の働き方改革について多様な施策を推進するとともに、業界に対しても積極的な取り組みを求めているところであります。

私ども電管協においては、工業高校との意見交換や合同企業説明会、新入社員研修等を実施するとともに、職場環境や処遇の改善、行政への施工の平準化を要請する活動にも取り組んでまいりました。

このような取り組みは、多くの建設関連団体でも実施されていますが、近い将来、目に見える成果となってフィードバックされることを期待しているところであります。

迎えました新しい年が、建設業界の更なる発展の年となりますよう祈念申し上げますとともに、関係各位のご健勝をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

電材･照明･空調･設備機材の総合卸商社
株式会社 アサヒ
代表取締役社長　福 重　勉
本社/〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1番地11 TEL 098-862-8111 FAX 098-863-3044

新春を迎えて

首里城の復旧・復興の早期実現に向けて全力で取り組む

沖縄県知事　玉城　デニー

はいさい、いいそーぐわちでーびる。

新年明けましておめでとうございます。

令和２年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

（一社）沖縄県電気管工事業協会の会員の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、更なる飛躍に向けて気持ちも新たにされていることと存じます。

旧年中は、沖縄県の土木建築行政の推進に御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の10月31日、沖縄の歴史と文化の象徴である首里城が火災のため焼失しました。あの時の衝撃を思い起こすと、今でも胸が痛み、言葉に言い表すことのできない喪失感に包まれます。首里城は、ウチナーンチュのアイデンティティーの拠り所として、県民はもとより、多くの観光客にも親しまれてまいりました。幾多の世代わりを経験した沖縄県にとって、首里城は琉球王国時代の祖先（ウヤファーフジ）から引き継いできた大切な財産であるとともに、私たちの魂とも言える、そんな存在でありました。

首里城火災の衝撃やその喪失感など国内外から多くの悲しみの声が寄せられたと同時に、火災直後から多くのお見舞いの言葉や寄附金などが寄せられており、復旧・復興を願うすべての人の大きな励みとなっています。

今後、国との連携や、国内外の関係機関との協力、さらに、県民、国民、世界のウチナーンチュの皆様のサポートなども得ながら、一刻も早い首里城の復興・復旧に向けて、全力で取り組んでまいりますので、皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年の本県の主要事業を振り返ってみますと、10月１日に沖縄都市モノレールの延長区間が無事開業を迎えました。開業後（10月）の１日平均乗客数は、開業前（９月）から約１万１千人増加し順調に推移しております。また、石嶺駅、経塚駅、浦添前田駅、てだこ浦西駅の延長４駅においては、駅を中心としたまちづくりが進められ、地域の活性化や観光の振興など発展の中核を担うことが期待されております。

那覇港におきましては、４月に「国際旅客船拠点形成港湾」の指定を受け、国及び那覇港管理組合において世界最大の22万トン級の大型クルーズ船が停泊できる水深12メートルの専用バース等の整備に取り組んでいるところであります。

このほか、はしご道路ネットワークの構築に向けた南部東道路等の整備、交通渋滞緩和に向けた主要渋滞交差点の改良、浸水・高潮対策などの防災対策と既存のインフラの耐震化、長寿命化などに引き続き取り組んでまいります。

建設産業は、インフラの整備や防災・減災対策などを着実に実現するうえで、極めて大きな役割を担っており、県民の安全･安心の確保を担う「地域の守り手」として、新しい「令和」の時代においても、その使命を果たしていくためには、働き方改革を進めながら、将来の担い手の確保を図るという課題に対応していく必要があります。

昨年６月には、建設産業が将来にわたって持続的に活躍していけるよう、「働き方改革」や「生産性向上」の実現を図ることを目的とした「新・担い手三法」が成立、公布されました。

このような中、県におきましても、休日、準備期間、天候等を考慮した適正な工期設定に務めるとともに、原則すべての土木工事を対象に週休２日工事に取り組んでいるところであります。また、ゼロ県債等を活用した施工時期の平準化やＩＣＴ活用工事による生産性向上の推進、社会保険加入の徹底及び建設産業の魅力発信に積極的に取り組んでまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、貴協会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げ、挨拶といたします。

くとぅしん　ゆたさるぐとぅ　うにげーさびら。

新春を迎えて

「安全安心に暮らせるまちづくり」の推進

那覇市長　**城間 幹子**

はいたい ぐすーよー いいそーぐぁちでーびる。

新たな年を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の皆様におかれましては、日頃より本市の建設行政に対し、格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年10月に、沖縄の歴史と独特な文化を象徴する首里城が大規模な火災にみまわれ、多くの人々に大きな喪失感と深い悲しみが広がりました。年頭に、本市といたしましても、国や県と連携しながら、首里城再建に向けて全力で取り組んでまいりますことをお誓い申し上げたいと思います。

さて、昨年10月には那覇市内の那覇空港―首里の約13キロを運行する沖縄都市モノレール「ゆいレール」が、首里―てだこ浦西の約4キロ、4駅を新設し延伸開業いたしました。これにより沿線道路の渋滞の緩和と観光客の利便性向上による経済効果が期待できます。

11月には、真和志南地域に活き活き人材育成施設「まーいまーいＮａｈａ」が竣工いたしました。この施設は観光産業分野などで活躍できる人材の育成を図るとともに、地域住民と外国人との交流などの活動を支援するためのコミュニティー機能を備え、生涯学習の推進、地域の教育力を向上させるまちづくりに貢献します。

そして、12月には、地域で安心して住みつづけていける住宅、大名市営住宅の第3期住棟の一部が完成し共用開始しております。これもひとえに、一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の皆様のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

今年も引続き、新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)の竣工に向け、鋭意取り組んでまいります。名称は「那覇文化芸術劇場なはーと」に決まりました。「那覇市の心(ハート)を揺るがす芸術(アート)の発信拠点が人々に親しまれ、文化芸術が発展するように」との願いが込められています。劇場周辺の商業施設や宿泊施設との連係により、新たなにぎわいを創出することで、中心市街地の活性化、観光や経済振興など、波及効果をもたらしていくことを期待しています。

また、ゆいレールと同様に本市のまちづくりの新たな役割が望まれるＬＲＴ(次世代型路面電車)の導入実現に向けて議論を深めていきます。交通ネットワークの充実により都市としての魅力を高めていきます。市営住宅建替事業においては、暮らして良し歩いて楽しい快適なまちづくりを目指し、周辺環境に調和した良質で快適な住宅となるよう継続して石嶺、大名、宇栄原市営住宅の建て替え工事及び真地市営住宅の実施設計を着実に進めてまいります。

さらに、多様な学習機会の場となる学校施設では、補修・改築整備を進め、安全・安心な教育環境を提供し、学校が学びや育ちの拠点となるまちづくりを推進してまいります。古蔵小学校屋内運動場、松島中学校屋内運動場等の改築工事や設備機器改修工事を予定しております。これまで同様、地元企業優先・分離分割発注に努めてまいります。

誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり、持続可能なまちづくりに、皆様の培われた高い技術や豊富な経験が活かせることを期待するとともに、今後も、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人沖縄県電気管工事業協会のますますのご発展ならびに会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしまして、新年のあいさつといたします。

くとぅしん ゆたさるぐとぅ うにげーさびら。

新春を迎えて

県民の皆様の生活により役立つ公共サービスの提供を目指して

内閣府沖縄総合事務局
開発建設部　部長　**中島　靖**

新年あけましておめでとうございます。

令和２年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の会員の皆様におかれましては、日頃より沖縄総合事務局の官庁営繕事業等に対し、多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

沖縄総合事務局では、沖縄の発展のために、経済、社会、暮らしを支えるために、引き続き社会資本整備を着実に進めてまいります。

首里城公園については、10月31日の火災により正殿等の主要施設が焼失いたしました。県民の皆様方には多大なるご心配をおかけいたしますが、再建に向けては、再発防止等を含めて関係機関と連携しながら全力で取り組んでまいります。

主な事業として、道路ではハシゴ道路による道路ネットワークの整備や、那覇都市圏の交通混雑の解消を目的とした２環状７放射道路に取り組んでいるところであります。また、那覇空港では、令和２年３月26日から増設滑走路の供用開始、さらに港湾事業では、今年度着工した那覇港国際クルーズ拠点をはじめ、平良港でも同様にクルーズ船の受け入れ環境の強化に取り組んでまいります。

建設業界に目を向けると、沖縄県でも建設業従事者の不足、高齢化・若年技術者の減少等が懸念されています。沖縄県の人口は令和２年頃から減少傾向に向かうことが予測されており、この問題は、今後、更に顕在化してくると思われ、現段階から建設業の担い手確保や生産性向上に向けた取り組みを推進する必要があります。沖縄総合事務局としても、県内の実情を踏まえ、入札・契約や現場での取り組み等を進めてまいります。

皆様方に関わりの深い官庁営繕事業につきましては、災害に対する国民の皆様方の安全・安心の確保などに的確に対応することが重要です。沖縄においても大規模災害の発生に備え、防災拠点となる官庁施設の整備を進めてまいります。また、時代とともに変化する社会的要請に的確に対応できるよう、官庁施設の整備・活用を推進してまいります。営繕工事におきましても、直轄工事における「働き方改革」の取り組みを進めてまいります。

新・担い手三法、とりわけ公共工事品確法の改正では、働き方改革の推進として、適正工期の設定や施工時期の平準化、生産性向上への取り組み等が盛り込まれました。営繕工事においてもこれらの働き方改革の取り組みを進めてまいります。また、生産性向上の取り組みについては、BIM（Building Information Modeling）を用いた設計・施工、情報共有システム（ASP）や電子小黒板などの技術の導入を進めてまいります。

我々の各種取り組みについては、地方公共団体への周知や公共建築相談窓口での相談等により普及に努めております。皆様におかれましても、これら取り組みに対しましてご理解、ご協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、今年一年が貴協会並びに協会会員各位にとって更なる発展の年となりますよう祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

新春を迎えて

働き方改革の取り組みを推進

一般社団法人　日本電設工業協会
会長　**後藤　　清**

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、5月に皇太子殿下が即位され、元号も「令和」に変わり、新しい時代に向けた祝賀ムードの溢れる年でした。また、わが国初のラグビーのワールドカップも大変な盛り上がりでした。電気設備工事業界もオリンピック・パラリンピックを控え、忙しい一年であったと思います。

一方で、昨年は大きな自然災害が続いた一年でもありました。台風15号の関東直撃では想定外の長期停電、続く19号では広域での浸水被害など、日本はつくづく災害大国で、今後とも想定もしない大きな災害に見舞われる危険性があること、そしてライフラインとしての電気の重要性が改めて認識されたのではと思います。

電気は水と並んで最重要なインフラとこれまでも申し上げてきましたが、停電による断水などをみると「電気」が最も基盤的なインフラとも思えます。近時の事例を前に、発災後のＢＣＰ（事業継続計画）対策についても、業界の使命として今後、積極的に取り組んでいきたいと考えております。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、活気ある一年が期待されます。一方、建設業界では、技術者・技能者の高齢化や若年入職者の減少に伴う担い手確保の困難さは深刻な問題であり、そのためにも「働き方改革」の推進が重要な課題です。

電設協では、一昨年策定した「働き方改革に向けた基本方針」に基づき、取り組みを進めてまいりましたが、本年はさらに働き方改革に向けた取り組みを加速させるとともに、先進的な取り組み事例の会員への情報提供の仕組みなどを新たに検討したいと考えております。

また、新・担い手三法を背景とする「適切な工期設定と工程管理」への取り組み、建設キャリアアップシステムに対応する「能力評価基準」の作成や、「特定技能制度」を活用した外国人技能労働者の受け入れの検討も今年の課題です。

本年も本部・支部及び各都道府県協会が手を携え、関係機関等との連携を強化しつつ、行動する電設協として「夢と生きがいのある電設業界」を目指してまいります。

結びに、皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

地域とともに、地域のために　沖縄電力

“法人のお客さま”向けサイト
省エネやエネルギーコストの低減など
会社が抱える問題を解決したい。
→ウェブの「改善事例」を見る
いーわじゃ

“個人のお客さま”向けサイト
オール電化にするとうちの光熱費は
どれだけ安くなるの？
→「オール電化光熱費シミュレーション」へ
おきでん　オール電化

電化についてのご相談は
0120-586-391
法人のお客さま▶**法人営業部**へ
個人のお客さま▶**生活営業部**へ

新春を迎えて

空調衛生工事業界の独自性の確立を

一般社団法人　日本空調衛生工事業協会
会長　**長谷川　勉**

新年明けましておめでとうございます。

令和２年の年頭に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、台風15号、19号等による風水害をはじめ、各地で多くの自然災害が発生いたしました。これらの災害により被災された方々に対しまして、心よりお見舞いと一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

わが国の経済は、米中の通商問題をはじめとする海外経済の動向等に留意する必要はあるものの、国内における雇用･所得環境の改善が続く中、さまざまな政策の効果もあって、今後も緩やかな回復が続くことが期待されています。

空調衛生工事業界においても、首都圏を中心に概ね堅調に推移していますが、これが地方圏にも広がり、また、東京オリンピック・パラリンピック後においても持続していくよう、官民それぞれの取り組みが期待されるところです。

昨年は、建設キャリアアップシステムの本運用が開始されるとともに、働き方改革関連法及び改正出入国管理法の施行、新・担い手３法の成立など、建設業における担い手の確保に関する各制度が一斉に動き出す年となりました。

建設キャリアアップシステムについては、日空衛として、昨年、全国９支部において会員への説明会を開催するとともに、モデル現場の開設・運用を開始しました。本年も、引き続き、会員への一層の周知・普及に努めるとともに、建設技能者の能力評価基準の作成について関係業界団体と連携して取り組んでまいる所存です。

空調衛生工事業界における働き方改革の推進については、一昨年に策定した「働き方改革の推進に関する行動計画」に基づき、昨年は、パンフレット『週休２日を実現し長時間労働を是正』を作成し、様々な意見交換会の場などで活用したほか、会員企業における好事例の水平展開、会員企業における社員の残業時間と休日取得についてのフォローアップ調査などを行いました。

建設業は、一つの現場で様々な業種や企業が活動しており、また、発注者やエンドユーザーのご理解も必要であることから、働き方改革は一朝一夕に実現するものではありませんが、新・担い手３法の趣旨も踏まえ、発注時における設計精度の向上や、後工程にしわ寄せを生じさせない施工管理などの基本的な課題も含めて、国土交通省はじめ行政のご指導と発注者の皆様のご理解をいただきながら、関係業界団体とも連携して、着実に取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

一方、「働き方改革の推進」のためには「生産性の向上」が必要不可欠です。「生産性の向上」のためにはＩＣＴの活用、書類の簡素化など様々な取り組みが考えられますが、ＢＩＭの推進により、着工時に設計的要件が全て決定されるようになれば、設計図書の精度が飛躍的に向上し、施工時における不要な打ち合わせや調整が激減することによって、当業界の働き方改革にも大きく寄与すると考えられます。このため、昨年日空衛に設置した「ＢＩＭ推進部会」において内部検討を重ねながら、国土交通省の「建築ＢＩＭ推進会議」における検討に参画してまいります。

さらに、特定技能外国人の受け入れについては、配管等の空調衛生工事関係職種が受け入れ対象職種に追加される方向で検討が進められていることを踏まえ、日空衛として（一社）建設技能人材機構に加入することなどを決定したところであり、今後、特定技能外国人を空調衛生工事業界へ適正かつ円滑に受け入れられるよう取り組んでまいる所存です。

空調衛生工事業界は、ステークホルダーとのパートナーシップにより、設備の設計、施工、運転管理から廃棄に至る活動を通じて、省エネ、省ＣＯ２を推進し、低・脱炭素社会づくりを目に見える形で先導し、地球環境の保全に貢献することが求められています。

私たちは、パリ協定の本格稼働や、改正建築物省エネ法に基づく省エネ基準適合義務の対象拡大など様々な事業環境の変化を的確に捉え、それぞれの企業がお互いに切磋琢磨して、長年培ってきた省エネ、省ＣＯ２に関する技術をさらに磨き、また、これを社会に積極的に発信していくことが空調衛生工事業界の独自性の確立につながるものと確信しております。

昨年中は、副会長、理事、監事、諮問委員をはじめ、会員各社、各団体の皆様のご理解、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本年は、第39期の2年目を迎えることになります。日空衛としては、時々の課題に的確に対応するとともに、業界の将来を見据えた活動を進めてまいりたいと考えております。このため、本年も業界の発展のため、会員の皆様と一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、日空衛の活動への会員各位の積極的なご参加、ご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

視点

防災情報「警戒レベル」の運用について

沖縄県知事公室 防災危機管理課
課長 石川 欣吾

1．はじめに

令和元年の出水期（6月頃）より、自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記した防災情報が提供されることとなっています。夏から秋にかけて、マスメディア等を通じて見聞きされた方も多いと思いますが、その目的や情報の活用について説明します。

2．「避難勧告等に関するガイドライン」の改定

平成30年7月豪雨では、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、各地で甚大な災害が発生しました。この豪雨では、気象庁による緊急会見など厳重な警戒が事前に伝えられていたほか、多くの自治体から避難勧告が発令されるなどしていましたが、自宅に留まる等により多くの方が亡くなる結果となりました。
この事態を踏まえ、国の中央防災会議・防災対策実行会議のもと、これまでの「行政主導の取り組みを改善することにより防災対策を強化する」から「住民が自らの命は自らが守る意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政はそれを全力で支援する」へ方向性を見直し、住民主体の取り組み強化による防災意識の高い社会の構築に向けた報告が平成30年12月にまとめられています。

報告を受けて「避難勧告等に関するガイドライン」が平成31年3月に改定され、「災害発生のおそれの高まりに応じて、居住者等がとるべき行動を5段階に分けるとともに、『行動を居住者等に促す情報』と『行動をとる際の判断に参考となる情報（警戒レベル相当情報）』との対応により、出された情報からとるべき行動を直感的に理解しやすいものとする」ため、防災気象情報等と地方公共団体が発令する避難勧告等の避難情報を連携し警戒レベルの運用が始まったものです。

3．「警戒レベル」について

運用の始まった警戒レベルと行動は次のとおりです。

■警戒レベル1：災害への心構えを高める
■警戒レベル2：ハザードマップなどで避難行動を確認
■警戒レベル3：高齢者や要介護者等が避難
■警戒レベル4：対象地域住民の全員避難
■警戒レベル5：“命を守るために最善の行動を”

『でんき』は選ぶ時代になりました！

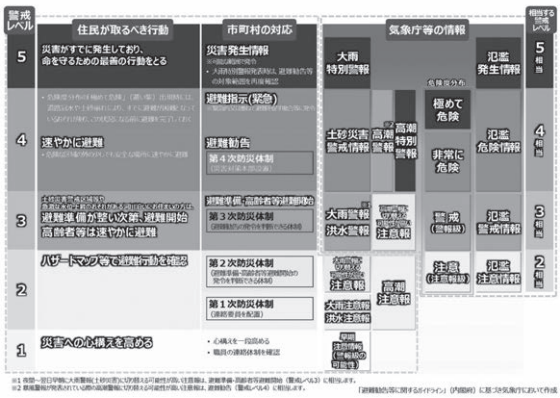
沖縄ガス

いいんでガス 沖縄ガス♪♪

電気代が安くなります！
比べてください！

沖縄ガス 検索

ここでのポイントは、特に警戒レベル３以上の取り扱いです。発表される情報と、その警戒レベル、とるべき行動については次の図のとおりです。



（出典：気象庁ホームページより）

自治体から避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル３）や避難勧告（警戒レベル４）等が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難勧告等よりも先に発表されます。このため、警戒レベル３相当（大雨警報、洪水警報等）や警戒レベル４相当（土砂災害警戒情報等）の防災気象情報が発表された際には、避難勧告等が発令されていなくても危険度分布や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。大雨特別警報などは警戒レベル５相当であることにも注意が必要です。

また、避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

４．沖縄県の状況

沖縄県内においては、「警戒レベル」の運用が開始された６月以降11月までに警戒レベル３相当以上にあたる大雨警報や洪水警報が気象庁より30回発表され、そのうち、警戒レベル４に相当する土砂災害警戒情報や高潮警報は10回となっています。

台風第９号、台風第13号、台風第18号では警報対象の自治体から避難勧告が発令され、特に規模の大きかった台風第13号では46世帯73人が避難所へ避難しています。幸いにも死者・重傷者は無く、軽傷者７人の報告がありました。

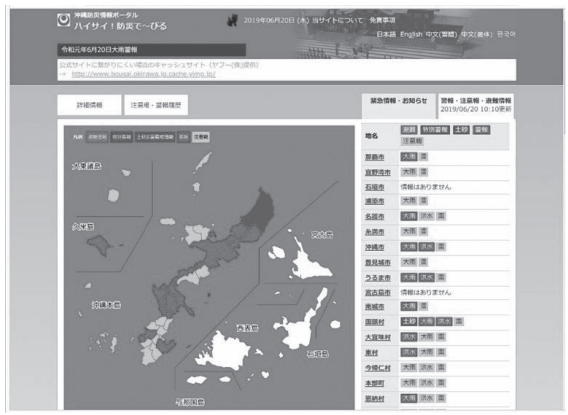
台風第17号では、最大で55世帯69人が避難所へ避難しているところですが、死者が１人、軽傷者が19人となっています。

島しょ地域等においては、大雨の範囲が局地的な扱いとなり、特別警報の指標となる「一定の広がり」に満たない場合があります。ただし、局所的ではあっても、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測または解析したときには、観測点名や市町村等を明示した「記録的短時間大雨情報」が発表されますので注意が必要です。実際に５月には与那国島に記録的短時間大雨情報が発表され、浸水被害や河川護岸の崩壊等が発生しました。

５．沖縄県の防災ポータルサイト

沖縄県では、沖縄県防災情報ポータルサイト「ハイサイ！防災で～びる」により、気象情報や県内自治体が発信する市町村毎の避難勧告・避難指示、避難情報、被害情報などがホームページ上から閲覧できるサイトを公開しており、観光客や外国の方を考慮した４か国語（日本語、英語、中国語、韓国語）対応となっています。（http://bousai.okinawa.jp/）

当サイトの「警戒レベル」対応については、令和２年１月下旬より暫定的措置として凡例へのガイド掲載を行い、令和２年度中にシステムの改修を実施し、運用をしていくこととしています。



（出典：沖縄県「防災で～びる」より）

６．おわりに

自然災害から県民の生命、身体及び財産を災害から守るために、行政としては常に先手の情報提供や対策が責務となりますが、災害が大規模化・複雑化している昨今、行政の力では限界があり、今後は「自助」「共助」「公助」が一体となった災害に強い地域づくりに取り組んでいくことが重要となっています。

県民の皆様、防災関係機関や各事業所の皆様におかれましては、今回説明したような新しい情報への理解も深めつつ、地域防災行政への御協力をお願いいたします。

さらなる沖縄振興に向けて インフラ整備を着実に推進

会長対談シリーズ（45）

内閣府　沖縄総合事務局
次長　小口　浩

（一社）沖縄県電気管工事業協会
会長　松島　寛行

平成から令和へ元号が変わった2019年。県内では、慢性的な交通渋滞の改善や増大する観光需要に対応するため、国道58号線拡幅工事や那覇港第２クルーズバースなど、交通インフラの拡充に向けたプロジェクトが着工した。オリンピックイヤーとなる今年は、那覇空港第２滑走路が３月末に供用開始予定であり、こうしたインフラ整備によるさらなる沖縄の発展及び観光振興が期待される。

その一方で、県内建設業界は、慢性的な人材不足や頻発する不調不落など大きな課題を抱えている。設備業界では、魅力ある建設業を目指して、業界一丸となって長時間労働の改善や生産性向上などを進めており、昨年６月に成立した改正担い手３法には発注者・受注者の双方の責務として働き方改革を後押しする規定が盛り込まれ、官民での取り組みを促している。

今回の会長対談では、沖縄の振興・発展に向けて社会資本整備を推進している沖縄総合事務局の小口浩次長に昨年を振り返ってもらうとともに、新年の抱負を伺った。

那覇空港第２滑走路

松島寛行会長

新年を迎えまして、あけましておめでとうございます。

（一社）沖縄県電気管工事業協会の松島寛行でございます。昭和30年4月に発足した当協会は令和２年に創立65年目を迎えることができました。これもひとえに沖縄総合事務局をはじめとした関係各位の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日の対談は当協会会報第74号に掲載する新春企画でございます。公務ご多忙の中このようにお時間を割いて頂き、誠に感謝申し上げる次第でございます。本日は沖縄総合事務局次長の小口浩様から設備業界、建設業界に対する率直なご意見やアドバイスをお聞かせいただければ幸いに存じます。はじめに令和元年の沖縄県内の施設整備状況などについて振り返っていただくとともに、現在進行中の整備事業の進捗について教えていただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

小口浩次長

改めまして、あけましておめでとうございます。平素より私ども沖縄総合事務局の各種事業の推進にさまざまなご協力をいただき、ありがとうございます。また、御協会は今年で創立65年を迎えるということでお祝い申し上げます。今日の沖縄経済は全国的に見ても、非常に良いペースで成長しているという評価をもらっているところであります。観光客が右肩上がりで増えているところで、昨年度はついに1000万人を超えたという報告がありました。その一方で、交通インフラをはじめとするインフラの絶対量が私の実感としても、まだまだ全然足りていないというような気がしております。

さて、沖縄総合事務局の今年度時点での事業の進捗状況といったことを、まずご紹介させて頂きますと、特に交通関係のインフラ整備に力をいれています。

沖縄の玄関口のみならず、我が国とアジアの玄関口として、国内外各地や県内離島と接続する那覇空港では、利用者数が年々増加しています。滑走路一本で運用されている空港としては、福岡空港に次いで全国で2番目に旅客数が多くなっております。昨年度には過去最高の2155万人にご利用いただきました。特に国際線では391万人ということで、この7年間で約8倍に増加しております。

こういった需要増加に対応するために、今から5年ほど遡る平成26年1月に滑走路増設事業が着工しました。海の上に作る滑走路ということで、その周りを囲む護岸の総延長が約8.5㎞、投入する土砂の全体土量は約1000万立米という、大規模な工事を進めてまいったところでございます。全体延長2700ｍの滑走路ということで、既に舗装工事は完了し、今年の3月26日の供用開始に向けて最終段階を迎えているところでございます。

それから同じ交通インフラということで、最近海外からクルーズ大型客船で入ってくるというものも増えてきてございます。那覇港や平良港においては、国の方で官民連携による国際クルーズ拠点整備というスキームで、官民が手を携えてクルーズターミナル拠点を作っていくこととなっております。国際クルーズ拠点に指定されている港は、全国で数カ所しかございませ

ん。平良港はその指定が平成29年にされており、那覇港は昨年新たに指定されました。

那覇港では、現在、クルーズ船専用のふ頭は1つしかなく、空港と同じように1つでは足りず2つ目のクルーズふ頭を作るということで、今年度の新規事業として着手しました。昨年11月には、その起工式も行ったところでございます。

ちなみに、その官民連携による拠点整備というスキームについては、国の直轄事業で岸壁などのインフラを整備し、ＣＩＱ検査などを実施するターミナルビルについては連携するクルーズ船社が整備を行います。平良港については、ターミナルビルの建設が若干遅れる見込みもあるということで、港湾管理者である宮古島

平良港クルーズ岸壁完成予想バース

名護東道路数久田ＩＣ建設地付近（国道58号）

市の方で暫定的なターミナルビルを建設中であると伺っております。

一方で、那覇港では今年度岸壁の施工に着手したばかりということもあって、現在のところターミナルビルの着手時期は未定です。

次に道路関係では、沖縄は鉄道のネットワークがないため、陸上の交通は道路に頼らざるをえないことから幹線道路の整備を進めているところでございます。一つ例を挙げるとすれば、北部で自動車専用道路として現在整備を進めている名護東道路がございます。高速道路許田ＩＣの先に高速道路タイプのバイパスというような位置づけで、現在鋭意整備を進めているところであります。この名護市の伊佐川から世冨慶までについては平成23年度に2車線対面交通で開通しました。現在は、世冨慶から数久田の残り半分の部分を整備しております。

全体延長が6.8㎞で、すでに開通しているところが4.2㎞、残りの2.6㎞について来年の夏までに全線開通できるよう鋭意整備を進めているところであります。

また、名護東道路ができるのにあわせて、道の駅許田前の信号機を撤去するプロジェクトが進んでいるところで、開通したあかつきには、高速道路からほぼ一気に通過できるタイプの道路が完成します。

続いて、公共建築関係のお話として、那覇第二合同庁舎3号館があります。われわれの発注物件としてはかなり大型なものです。設計にあたっては、地域とうまく連携していけるような空間づくりも併せて考えていこうということで、学識経験者の先生にも入って頂いた検討会にて決定した地域連携策を設計に盛り込みながら進めております。今後は、今年3月末までに設計自体を完了し、令和3年度の工事発注に向けて準備を進めてまいります。

大型物件ということもあって、専門性の高い分野でもありますから、電気設備工事や機械設備工事の発注についても十分考慮しながら進めていく必要がありますので、どうぞよろしくお願いします。

松島会長

ありがとうございました。昨年も様々な事業が展開されました。今後は那覇第二合同庁舎３号館の建設に向けて、ご協力できればと考えております。

一方で、若年入職者の減少による人手不足が深刻化していることから、現場に配置する技術者を確保できず、入札参加を見合わせる企業も少なくありません。県内では、特に市町村や独立行政法人などで入札不調が増えていると聞いており、私どもも危機感を覚えております。改めて沖縄総合事務局発注工事における近年の入札不調の状況、入札不調への考え方について教えてください。

小口次長

近年の入札不調は、人手不足が深刻化している社会全体としての課題が背景にあると思います。建設関連産業の担い手確保・育成に対する問題は、国を挙げて問題意識が高まっている中で、昨年６月には通称：担い手三法（公共工事の品質確保の促進に関する法律、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律）が改正されました。公共工事の発注者の責務として、建設関連産業が健全に維持発展していけるような環境作りを発注者も一緒に責任を持ってやっていかなければならないと、その部分がかなり深掘りされています。われわれとしても、法改正も踏まえながらしっかり発注者としての配慮をしていきたいと思っております。

そうした中で残念ながら、実際工事を発注しようとしても不落不調が頻発しています。とりわけ沖縄県内においては、観光産業をはじめとする各分野の産業が全国水準に比べると、かなり活況を呈していることから民間の建築も増えてきている状況です。その中で公共建築の発注の入札不調が増えているというのはご指摘の通りです。土木系の工事では、新たに構造物をつくる工事はさることながら、維持・修繕、メンテナンス系などわりと手間がかかる工事は、な

かなか建設業者さんの食指が動かない、発注してもなかなか手をあげていただけない状況があります。計画的な事業実施の面からも問題意識を持っているところでございます。

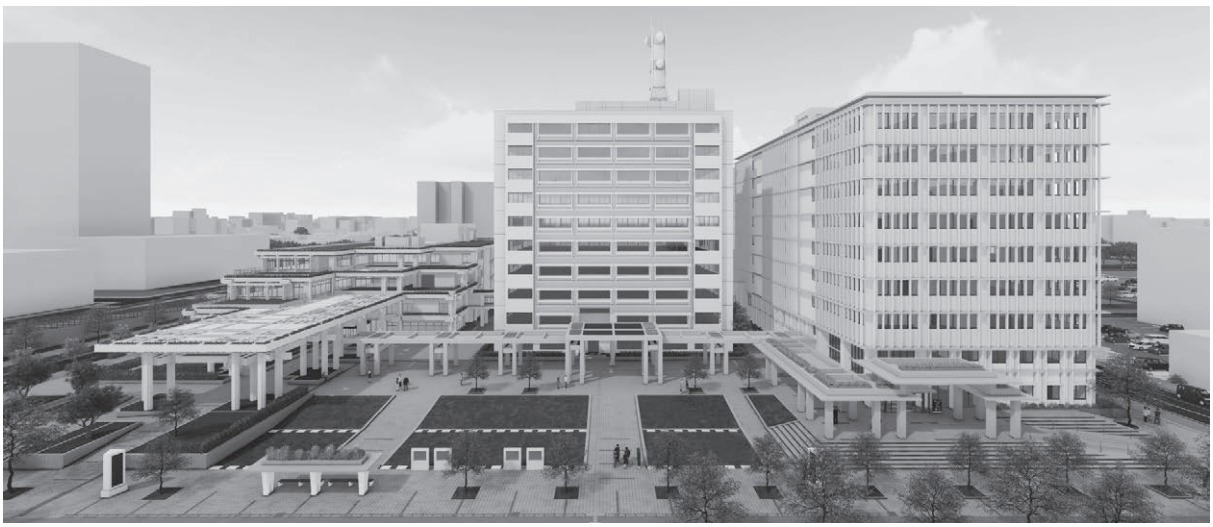
入札不調の原因としては、官側の積算と民間の建設企業の積算の差異でありますとか、そもそもご指摘のような技術者不足があると思っています。発注側の工夫としましては、見積もりを活用するような発注方式をはじめ、間接工事費については実績に見合うような形で変更をさせていただくような方式、沖縄の場合、県内で人材や資材が確保できない場合であれば、県外からの手配についても実績に応じて設計変更で対応するといった、なるべく実態に見合うような方式で入札・契約をしていくというように工夫していきたいと思います。

発注条件についても資格要件の緩和でありますとか､対象となる等級の拡大で間口を広げて､さまざまな発注方式を取り入れるなどの工夫をさらに重ねてまいりたいと考えております。

松島会長

引き続き、工事の受注に向けて頑張ってまいる所存でございますので、ご指導よろしくお願いします。電管協としましても、今後とも安定的に受注できる環境を整えていくためにも、若者にとって魅力ある業界づくりに努め、将来を担う人材の確保に努めていきたいと思います。

さて、電管協ではこれまで一貫して設備工事



那覇第２地方合同庁舎３号館イメージ（右側の建物が３号館）

の分離発注についてのご理解とご高配をお願いしておりますが、県内では度重なる入札不調や建設コストの増加などにより、市町村を中心に建築工事との一括発注を採用する動きが出てきております。設備工事の分離発注について沖縄総合事務局の方針及び近年の状況をお聞かせ願いますでしょうか。

併せて、設備工事における地元企業の受注状況と沖縄総合事務局での取り組みについて教えていただきたいと思います。

小口次長

専門性の高い設備工事につきましては、基本的には分離発注を念頭に置き対応をしていきたいというところございます。また、小規模で専門性が低いもので、なおかつ少額の工事で単独発注ではなかなか手をあげてもらえそうもない工事もあるかと思います。そういった工事については、他の工事と併せて発注するといった合理的な発注となる場合があることをご理解いただければと思います。

また、地元企業への発注については、地元企業に受注いただくことで、地元の状況等をよく把握されている関係上、事業計画が適切に推進できるというようなメリットも感じております。実際に質の高い工事をしていただいているところでございますので、地元企業が受注しやすい環境を引き続き整えてまいりたいと考えております。

地元企業の受注状況は、昨年の11月末の時点では、電気通信工事では10件のうち県内企業の受注件数が7件、機械工事では2件のうち１件となっておりまして、大体3分の2が県内企業の受注となっています。この比率が多いか少ないかという評価はさまざまだと思いますが、なるべく地元企業に受注していただける

ＩＳＯ
9001:2015
14001:2015
認証登録

三菱重工冷熱㈱　沖縄県総代理店
株式会社 東洋設備
代表取締役社長 玉城信六
沖縄県那覇市字天久一一二二番地
電話 〇九八―八六八―六八三一
ＦＡＸ 〇九八―八六一―五四六四

三協電気工事株式会社
代表取締役社長 松島 寛和
本　社
〒900-0005　那覇市字天久903
TEL(098)868-8141　FAX(098)868-2209
豊見城営業所
〒901-0213　豊見城市字高嶺589-12　2F
中部営業所
〒904-0034　沖縄市山内3-14-30　301

比嘉工業株式会社
代表取締役会長 比嘉広明
代表取締役社長 新里孝夫
事業本部 沖縄県西原町字小那覇九〇三番地
〒九〇三―〇一〇三 電話(〇九八)九四五―四六二〇(代)
ＦＡＸ(〇九八)九四六―二八三五
URL http://www.higa-kogyo.jp

ような環境整備についてはしっかりやっていきたいと思っております。

例えば、過去の施工実績として同種の施工実績を求めていますが、同種の工事の考え方をなるべく幅広く設定するよう配慮しているほか、配置技術者の過去の実績の評価もなるべく過去に遡っていけるようにと、配置技術者の評価工事対象期間を5年間から10年間へと延長しています。また、地域精通度によって県内企業を優位に評価するなどを引き続き実施していこうと考えておりますとともに、入札に参加しやすい環境づくりの面から、工事着手までの余裕期間を設けるといった工期の設定や施工期間の平準化についてもしっかりと進めていきたいと考えております。

正殿など主要な建物が焼損した首里城

松島会長

ありがとうございます。地域経済の活性化や地元企業の育成の観点から分離発注及び地元企業の優先活用は意義深いものであると考えております。引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、昨年は台風や大雨など度重なる風水害が発生して列島全体に甚大な被害をもたらし、県内では台風17号による暴風で大規模停電が発生したほか、倒木や土砂崩れなどの被害がございました。昨年3月29日に電管協は沖縄総合事務局と災害復旧支援協定を締結し、災害時の設備復旧への協力体制を強化しています。先日、協会会員向けの協定説明会を全ての地区で実施したところであり、さらに強固な体制づくりを推進していく所存でございます。

また10月31日未明に発生した首里城火災は県内だけでなく国内外の多くの人々に大きな衝撃を与えたものであります。電管協といたしましても微力ながら復元に向けた取り組みを進めているところでございますが、県民の皆さまと共に前進してまいりたいと考えております。小口様から今後の首里城火災対する影響や今後の防災に対する取り組み等についてお話を伺えれば幸いです。よろしくお願いいたします。

小口次長

沖縄で発生する自然災害はなかなか全国ニュースにはなりづらいですが、沖縄は台風常襲地でもあり、昨年も離島を含めれば5つ程度の台風が直撃、またはかなり接近しました。また、沖縄は地震が少ないんじゃないか、と誤解している人も多いようですが、沖縄近海には琉球海溝や沖縄トラフといった地震の巣といえるようなものがあり、いつ大災害が発生してもおかしくない状況にあります。

こうした中、昨年災害復旧支援協定を結んでいただいて大変心強く感じています。自然災害

Intertek ISO9001:2015 認証取得
〒904-2165 沖縄県沖縄市宮里三丁目八番三七号
電話 〇九八―九三七―四四四五
FAX 〇九八―九三七―四七七七
E-mail toyo@tydenki.com
東洋電気工事株式会社
社代表取締役長 柴引清保

電気工事業・通信工事業
株式会社日本電設
代表取締役 下地 晶
〒901-2226
本社 宜野湾市嘉数2丁目12番1号
電話 (098)897−4444㈹
FAX (098)897−1976

ISO9001 ISO14001
より自然に近い快適な環境づくり
桐和空調設備株式会社
代表取締役社長 名嘉正隆
〒900-0002 沖縄県那覇市曙1丁目8番1号
電話 (098) 861−1751
FAX (098) 867−0364

が発生した場合は施設の応急復旧をはじめ、すぐに初動体制をとらなければいけませんが、初動体制をとるための施設が十分に機能しなければ我々も身動きがとれません。災害復旧支援協定の中で、災害が発生したときには電管協の会員の皆様にご協力いただけるということで、改めて感謝申し上げます。

それから、首里城の件でございます。昨年10月31日に非常に残念なことに正殿をはじめとする建物が焼失してしまう事態になりました。首里城自体は、海外も含めて多くの観光客にも親しまれ、もちろん地元沖縄県民にとっては心の支えといえる大事な施設であります。今後復元に向けた取り組みをしっかり進めていかなければなりません。正殿等の施設自体は、国直轄で建設しているものなので、国でしっかりと復元をしていくということになりますが、その際は国の事業だからといって独断単独で実施するということではなくて、県をはじめとする地元の皆さまと一緒に進めていくという姿勢で取り組んでいきたいと思います。

具体的な進め方としては、昨年の12月27日に復元に向けた技術的な検討をしていく場がスタートし、今年度内に復元に向けた工程表を作成するというようなことになっております。

松島会長

ありがとうございます。お忙しいとは存じますが、お身体に留意して首里城復旧に取り組んでいただければと思います。

さて、電管協では発注機関の施設整備に対応するため、各種講習会などを開催し会員を挙げて技術力の向上に取り組んでいるところです。沖縄総合事務局から電管協に対して、求めたい取り組みなどありましたらお聞かせいただきますでしょうか。

小口次長

先ほど、業界には担い手の確保・育成に関する問題があるというお話がありました。建設関連産業全体として、あるいは公共工事を発注する立場の人間も含めた関係者全員が同じ意識を持って、建設産業に魅力があることを発信していくことが大事だと考えています。

最近、社会全体をあげて働き方改革が大きな社会的な動きとなっており、働き方改革に向けてさまざまな取り組みが進められています。働き方改革の表裏一体の話として、国土交通省では「生産性革命」というフレーズで、仕事の進め方を効率化し、生産性を上げていくといったことを進めています。これも関係者をあげて取り組んでいく必要があるんじゃないかと思っております。例えば、公共事業の仕事の関係で言えば工事情報共有システム（ASP）の導入や電子小黒板、あとはBIMを用いた設計・施工といったICTを全面的に活用した生産性の向上に、官民挙げて取り組んでいく必要があると思います。電管協の皆さまには、協会として前向きに取り組んでいただければと、ご期待申し上げるところでございます。

松島会長

協会を挙げてご提言への対応を図り、魅力ある設備業界づくりに努めていく所存であります。これからの業界を支える若者、後継者の育成・確保に努めていきたいと考えておりますの

南西電設株式会社
代表取締役会長 親泊政幸
代表取締役社長 親泊政夫
本店 〒900-0016 那覇市前島二丁目一五番二七号 Asset前島一F
電話（098）863-6038
FAX（098）863-6039
本社 〒901-2126 浦添市宮城六丁目二十一番五号
電話（098）878-3576
FAX（098）878-3847

株式会社南西工業
営業種目 電気・衛生・空調・土木工事
代表取締役 山田修
沖縄県石垣市字真栄里二四五-七番地
TEL（0980）82-2716
FAX（0980）82-6469

三栄工業株式会社
空調・衛生・機械器具設置・水道施設工事
東芝キャリア特約店
代表取締役社長 中村達
本社 沖縄県那覇市港町三-二-八
電話（098）868-0191(代)
FAX（098）868-4314
東京営業所 東京都福生市北田園一-二-三 ノーブル北田園三〇一
TEL・FAX（042）851-2250

で、行政との更なる連携を目指していきたいと思います。最後に令和2年を迎えての、小口様の抱負をお聞かせください。

小口次長

今年はねずみ年です。ねずみ年は十二支が一回りしてきて、またスタートに戻った年ということで、新しいサイクルが始まると言われています。それと同時に、未来に向かっていく、成長に向かって未来の可能性を追求していく、そういったイメージの年になるのではないかと思います。

全国的な話題としては、今年はオリンピックイヤーということで、世の中全体で色々な新しいことが始まる年であると思いますし、沖縄においても先程ご紹介したような那覇空港滑走路の増設事業が完了を迎えるなど、沖縄が振興発展していく大きな起点になるかもしれません。

私も沖縄の振興発展に力を尽くしていければと考えています。皆さま方の業界は県民生活を根底から支えている分野だと思います。しっかりと健全に発展していくように私も微力を尽くしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

松島会長

大変心強く思います。おっしゃられた通り、今年は大事なターニングポイントとなる年になると思います。協会としても、沖縄県のさらなる発展のために頑張っていきたいと思います。本日はありがとうございました。

プロフィール

沖縄総合事務局
次長 小口 浩 氏

昭和38年 1月	長野県生まれ
昭和60年 3月	東京大学工学部卒業
昭和60年 4月	建設省に採用
平成 6年 4月	同　東北地方建設局企画部企画課長
平成 7年 7月	警察庁交通部都市交通対策課管理官
平成10年 4月	建設省道路局路政課長補佐
平成11年10月	同　近畿地方建設局奈良国道工事事務所長
平成14年 4月	国土交通省近畿地方整備局企画部環境審査官
平成15年 4月	同　道路局地方道・環境課企画専門官
平成17年 8月	同　九州地方整備局福岡国道事務所長
平成20年 7月	同　道路局地方道・環境課道路交通安全対策室長
平成22年 4月	山口県土木建築部次長
平成23年 4月	同　土木建築部長
平成26年 4月	国土交通省北陸地方整備局企画部長
平成28年 4月	東日本高速道路株式会社経営企画本部本部付部長
平成30年 7月	内閣府沖縄総合事務局次長

企画特集

令和２年賀詞交歓会

創立65周年の節目の年

令和初の賀詞交歓会に多くの会員が参加した

松島寛行会長

令和２年新年賀詞交歓会が１月23日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで開催された。電管協会員ら約200人が駆け付け、新たな年の到来を盛大に祝った。

主催者挨拶で松島会長は「昨年は日空衛全国会議の沖縄開催があり、役職員はじめ会員皆様、とりわけ青年部の皆様のご協力により、成功裏に終了することができた。一方では、首里城の焼失という悲しい出来事もあったが、その再建への強い想いを持って新年を迎えられたと思う。電管協においても、会員皆様からいただいた多くの善意を先日お届けした」と振り返り「電管協は会員皆様が一致団結し、業界でも有数の優良団体としての地位を確立している。これも歴代会長、役員皆様と会員各位のご理解の賜物だと、改めまして厚くお礼申し上げる。今年は創立65周年を迎える記念すべき年。新しい年が、皆様にとって幸先の良い年となることを祈念する」と述べ、電管協のさらなる飛躍を誓った。

乾杯の音頭を取った㈱沖縄建設新聞の平良敏明社長は「沖縄の振興には、建物に命を吹き込む電気・管工事が欠かすことができない。大きな役割を持つ電管協とともに沖縄の発展に取り組んでいきたい」と述べ、子年にちなみ「いいネ」の発声で盛大に乾杯した。

余興では、伊是名島出身のシンガーソングライターの伊禮俊一さんが三線と力強い歌声で会場を沸かせた。「島人ぬ宝」や「ハイサイ！沖縄ぬちゅらかーぎー」など５曲を披露し、掛け声や手拍子で盛り上がった。

また青年部会の進行によるビンゴゲーム大会では、豪華景品を前に番号が発表されるたびに、一喜一憂する声があがるなど、会場全体が笑顔に包まれた。

中締めの挨拶で山川光雄副会長は「日頃より、協会運営にご協力いただき感謝している。皆さんのお力なしに電管協の事業を進めていくことはできない。これからもご協力をお願いしたい。皆様にとって良い年となることを願っている」と呼びかけ、締めくくった。

営業種目 冷暖房空調設備 給排水衛生設備 機械器具設置 上下水道施設 土木工事

Shōhei 尚平工業株式会社

代表取締役 平良明子

本社 那覇市具志三丁目一七番地七
〒九〇一―〇二四六 電話（〇九八）八五七―八八五一㈹
FAX（〇九八）八五八―一七六六
E-mail:shohei21@muse.ocn.ne.jp

土木・電気・水道・排水・衛生・空調
[御見積・設計・施工・設備資材販売]
石垣市給水工事指定工事社
石垣市排水工事指定工事社
ダイキン空調機器特約店
＜ルームエアコン販売・取付＞

株式会社 三光電設

代表取締役社長 粟盛 卓

本社：沖縄県石垣市字平得212番地
☎(0980)82―3836 FAX(0980)83―2047
三光電材センター：沖縄県石垣市字平得207番地1
☎(0980)83―5423 FAX(0980)83―5329

県知事許可(特)28第５７３３号

大成設備工業株式会社

代表取締役社長 狩俣 吉信

本社 那覇市首里石嶺町４丁目４４４番地６
電話：(０９８)８７１―４０３１
FAX：(０９８)８７１―４０３２

事業本部 西原町字掛保久７７番地
電話：(０９８)９４５―３７９７
FAX：(０９８)９４５―３７１２

Intertek ISO9001:2015 認証取得 ISO14001:2015 認証取得

新年賀詞交歓会会場スナップ

開会の挨拶を述べた比嘉広明副会長

乾杯の音頭をとった㈱沖縄建設新聞の平良敏昭社長

中締めの挨拶をした山川光雄副会長

確かな技術で地域・社会に貢献
総合建設業(電気・管・土木・建築・オール電化)
一般社団法人沖縄県電気管工事業協会 会員
株式会社 紫電舎
代表取締役 新城 永一郎
〒907-0002 事務所
沖縄県石垣市字真栄里 375-8 番地
TEL(0980)82-4811
FAX(0980)83-1409

沖縄電力配電委託工事協力会社
電気工事・電気通信工事
株式会社 那覇電工
代表取締役 比嘉 幸宏
本社 〒九〇一-〇〇三一 沖縄県那覇市若狭三丁目十五番一号
営業所 〒九〇一-〇二二四 沖縄県豊見城市字与根三三一番地
TEL(〇九八)八五〇-二四七八
FAX(〇九八)八五〇-六一二九
http://www.nahadenkou.co.jp/

世界にひとつのビルメンテナンス企業
～ Smile for You ～ 地域と未来の笑顔のために
株式会社 沖縄ダイケン
代表取締役社長 山盛 博文
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち一丁目1番12号
TEL(098)862-2991 FAX(098)876-5911
ホームページは 沖縄ダイケン 検索

企画特集

新年賀詞交歓会会場スナップ

照屋電気工事株式会社
代表取締役社長 上江洲 博
本社 那覇市首里石嶺町三丁目三二番地の三
〒九〇三-八八〇四 電話（〇九八）八八六-二二五六㈹

株式会社 沖創工
代表取締役社長 伊佐 一
営業種目：電気工事・電気通信工事・土木工事・太陽光設備
情報ネットワーク構築・設計・施工・保守・管理
本社：那覇市長田2丁目5番4号
TEL：（098）832-1421

有限会社 田端設備工業
会長 田端盛喜
代表取締役 田端 智
本社
〒901-1302
沖縄県与那原町字上与那原408-2
TEL(098)946-3691㈹ FAX(098)945-4339
宜野座支店
〒904-1302
沖縄県宜野座村字宜野座709番地
TEL(098)968-3564

新年賀詞交歓会会場スナップ

令和２年　電管協　新年賀詞交歓会　景品寄贈一覧（順不同）

ヤシマ工業㈱
㈱沖電工
琉球通信工事㈱
光通信工業㈱
㈱沖設備
日進電気土木㈱
㈱ゆにてっくす
㈱東洋設備
沖縄水質改良㈱
㈱テクノ工業
沖縄ガス㈱
㈱アサヒプラント
㈱永山組
三栄工業㈱
光電気産業㈱
㈱金城電気商会
㈱久米電装
國和設備工業㈱
㈱イチゴ
㈱沖縄工設
㈲田端設備工業
㈲東洋商会
㈱安謝橋電機
㈱アサヒ
南西電設㈱
㈱丸石設備
比嘉工業㈱
㈱比謝川電気
㈱那覇電工
㈱祖慶電設工業
㈱ゼネラル電設
㈱浦城産業
沖縄環境企画㈱
沖縄三菱電機販売㈱
久建工業㈱
㈱沖縄特電
桐和空調設備㈱
三協電気工事㈱
㈱東部電気土木
㈱奥原電設
照屋電気工事㈱
光電気工事㈱
沖電水工事㈱
㈱琉建工業
㈱オカノ
㈱機電工業
㈱沖創工
㈱安謝鋳物商事
㈱沖縄日立
南部電工㈱
㈱大城組
南西空調設備㈱
大成設備工業㈱
㈱沖縄建設新聞
㈱山川電気
金城電気工事㈱
尚平工業㈱
㈱シンテック
㈱沖縄ダイケン
㈱川田電設産業
その他景品（電管協から）
沖縄ハーバービューホテル

ご協力ありがとうございました。

子どもたちに建設業の魅力伝える 第４回おきなわ建設フェスタ

親子で水鉄砲作りを楽しんだ

次世代を担う子どもとその保護者らに、建設業の役割と魅力を伝える「第４回おきなわ建設フェスタ」（事業主体・おきなわ建設フェスタ実行委員会）が11月10日、沖縄市の県総合運動公園体育館と周辺駐車場で開かれた。来場者数は昨年と同数の約1万3000人となり、2年連続で1万人を突破。会場は、建設重機の試乗や模型づくり、ドローンの操作など体験型イベントを楽しむ子どもたちの笑顔であふれた。

電管協では、今年も沖縄県電気工事業工業組合、沖縄県管工事業協同組合連合会とともに、高所作業車試乗体験やペットボトルロケット飛ばし、水鉄砲製作などの体験ブースを設置。屋外で行われた高所作業車試乗体験では、㈱沖電工、㈱那覇電工、㈱東興電設が計５台の高所作業車を提供。整理券を求めて多くの親子連れが列をなす大盛況。4回に分けて配布した整理券は、配布後すぐになくなる人気ぶりで、試乗を待つ親子で賑わった。

高所作業車体験の説明を担当した㈱沖電工の狩俣優斗さんは「今年も人気があり10時からすでに20人以上並んでいて、5台分の整理券も早々になくなった。2、3回繰り返し乗りに来る方もいるくらい楽しんでもらって大変うれしく思う。高所作業はただ大変な仕事と思われがちだが、試乗体験によって興味をもってもらう機会になればと思う」と充実した表情で語った。

多くの親子連れで賑わった高所作業車体験

ペットボトルロケット飛ばしに挑戦

首里城正殿など８棟が焼損

電管協　早期復興に向けて150万円寄付

琉球新報社に寄付金を託した

10月31日午前2時41分頃、那覇市首里当蔵町の首里城で火災が発生し、首里城正殿、北殿、南殿など8棟が焼損した。首里城は1992年に正殿などが完成、2000年には、本島内の城跡や玉陵などとともに「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録され、国内外から多くの人が訪れる県内観光拠点施設の一つとなっている。沖縄戦で焼失した首里城は、県内外の多くの人々の尽力によって長い年月をかけて整備・復元されており、沖縄の象徴となる施設の焼失に県民の間に喪失感と悲しみが広がった。

首里城の焼失を受けて電管協は、㈱琉球新報社をはじめ県内マスコミ10社が呼び掛けている「『首里城再建』支援のための県民募金」に会員から募った寄付金150万円を託した。１月９日、松島寛行会長らが那覇市の琉球新報社を訪れ、玉城常邦常務に目録を手渡した。松島会長は「首里城は県民の財産。社会資本の維持管理は我々の大きな使命だ。微力ながらも首里城の早期復興への協力を継続していきたい」と語った。

多くの県民から首里城の早期復興が期待されている中で、沖縄総合事務局や県は、着実に取り組みを進めている。沖総局は、首里城正殿などの復元に向けて防火対策の強化や資材調達などについて検討を行うため「首里城復元に向けた技術検討委員会」を設置、12月27日には那覇市のダブルツリーｂｙヒルトン那覇首里城で初会合を開いた。委員会では、前回の復元工事に使用したタイワンヒノキが伐採禁止となっていることや、礎石や礎盤などに使用された本島

焼損した首里城

産の細粒砂岩（ニービヌフニ）が現在は市場で流通していないことなどが首里城復元の主な課題として報告されたほか、宮大工や木および石彫刻の職人確保の必要性も指摘された。

また、沖総局は１月１日付で局内に「首里城復元整備推進室」を設置した。同室は首里城再建に向けた技術検討委員会の運営や関係省庁、沖縄県との調整、復元に向けた行程表作成などを担う。

一方、県の玉城デニー知事は12月26日、県庁で記者会見を開き、首里城復興の基本的な考え方を発表。専門家らで構成される有識者会議を発足し、基本的な考え方を踏まえた会議での議論や県民の声なども集約して、年度内には基本方針を策定することも明らかにした。また、1月9日には現在知事直轄となっている「首里城復興戦略チーム」を格上げして知事公室に特命の課を新設することを発表した。

このほか、首里城の早期復元に向けて、一般企業や個人から県や那覇市などに多額の寄付金が集まるなど、支援の輪が広がっている。

前年度同額の総額3010億円　来年度沖縄振興予算案
公共投資は約2046億円　一括交付金が6年連続減額

政府は12月20日、総額3010億円の2020年度沖縄振興予算案を閣議決定した。総額は19年度当初予算と同額となったが、沖縄振興一括交付金は総額約1014億円で、19年度当初より約79億円（7･3%）の減額で6年連続減少した。公共事業関係費等には約1420億円を計上。那覇空港滑走路増設事業が完了するものの、道路や港湾、農林水産基盤、住宅などの公共事業が増額となり、19年度並みの予算を確保した。

沖縄振興一括交付金は、沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）が522億円（前年度比約39億円､7%減)､沖縄振興公共投資交付金（ハード交付金）が約492億円（同約40億円、7･6%減）となり、ハード交付金が制度創設以来、初めて500億円を下回った。県の担当者は「減額で来年度実施予定の工事などを先送りする可能性がある」と話した。一方、国が直接市町村に交付する沖縄振興特定事業推進費は約55億円（同25億円増）を計上した。

公共投資は総額約2046億円で前年度並みを確保。道路が約399億円（同17・7%増）、港湾が約170億円（同15・8%増）、住宅都市環境が約74億円（同26・9%増）、水道廃棄物処理等が約79億円（同19・3%増）、農林水産基盤が約195億円（同16・9%増）、大学院大学施設が約34億円（同62・3%増）と多くの項目で増額となった。道路事業では、小禄道路や名護東道路、国道58号浦添拡幅などの整備を進めるほか、那覇港、平良港、石垣港などで港湾機能の強化を図るため、岸壁等の整備を推進する。また、学校施設の耐震化や災害に強い県土づくりのための社会資本整備を行う。

宜野湾市の西普天間住宅地区跡地において、琉球大学医学部および同附属病院の移設を中心とする国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点の整備を推進する経費に、約89億円（同51・1%増）を計上。北部地域の連携促進と自立的発展の条件整備を進めるための北部振興事業費には前年度と同額の約35億円を盛り込んだ。

新規の沖縄テレワーク推進事業では、県外企業の沖縄進出や県内企業の働き方改革・企業価値向上を図る、既存施設の改修によるテレワーク施設整備と活用をサポートする。

このほか、交通環境創造事業に約1億円、鉄軌道等導入課題詳細調査に約1億円、沖縄都市モノレールの3両化の取り組みを支援するため、補助率を8割に引き上げる制度の創設が認められた。

2020年度沖縄振興予算案（一部抜粋）（単位：百万円、%）

事　　項	20年度	19年度	前年度比
○沖縄振興交付金事業推進費	101,356	109,333	△7.3
沖縄振興特別推進交付金	52,173	56,116	△7.0
沖縄振興公共投資交付金	49,183	53,217	△7.6
公共事業関係費等	141,994	142,045	0
（1）公共事業関係費	133,998	134,049	0
○治山治水	4,798	4,853	△1.1
治水	4,424	4,489	△1.4
治山	363	353	2.8
海岸	11	11	0
○道路	39,916	33,915	17.7
○港湾空港	32,761	43,976	△25.5
港湾	16,952	14,642	15.8
空港	15,809	29,334	△46.1
○住宅都市環境			
道路環境	7,370	5,806	26.9
○水道廃棄物処理等	7,937	6,656	19.3
水道	2,800	2,500	12
廃棄物	1,340	1,359	△1.4
都市公園	3,797	2,797	35.8
○農林水産基盤	19,525	16,702	16.9
農業農村基盤	15,491	13,359	16
森林整備	292	292	0
水産基盤整備	3,742	3,051	22.7
○社会資本総合整備	19,072	19,522	△2.3
○公立文教施設	7,996	7,996	0
○大学院大学施設	3,432	2,115	62.3
沖縄国立大学法人施設	8,887	5,882	51.1
不発弾等対策経費	2,956	2,961	△0.2
沖縄振興特定事業推進費	5,500	3,000	83.3

夢と生きがいのある電設業界を目指して

電設協が会員大会

全国から約500人の会員が出席した

（一社）日本電設工業協会（後藤清会長）の2019年度会員大会が10月10日、宮城県仙台市のホテルメトロポリタン仙台で開かれ、全国各地から約５００人の会員が出席。電管協からは、松島寛行会長と親泊政夫副会長が参加し、「夢と生きがいのある電設業界」へ向け、さらなる結束を固めた。

開会に先立ち、後藤会長は「電設協は創立71年を迎え、新しい歩みを始めた。建設業界は現在大きな変貌期に差し掛かっている。その中で本部・支部・各都道府県協会が手を携え、業界発展のための活動を進めていく」とあいさつした。

大会では、基調報告として大坪電機㈱（東京都墨田区）の齋藤衛代表取締役副社長が「建設キャリアアップシステムと能力評価」、東北電化工業㈱（山形市）の會津圭一郎代表取締役社長が「文系女子から電気工事技術者への道」と題して、それぞれ講演した。また、江川健太郎大会運営委員長から「行動する電設協として夢と生きがいのある電設業界を目指そう」題した大会決議が上程され、満場一致で採択された。

ISO 9001 ISO 14001 OHSAS 18001
www.intlcert.com
大和電工株式会社
営業種目 空調設備・衛生設備 電気工事・土木工事
代表取締役 宮里敏彦
本社 沖縄県那覇市若狭三丁目四十五番十号
TEL（〇九八）八六九－四〇四八
FAX（〇九八）八六九－四〇四一
豊見城事業部 沖縄県豊見城市与根西原五〇－五四番地
TEL（〇九八）八五〇－六〇四七
FAX（〇九八）九九五－六一五五
E-mail daidenko@jasmine.ocn.ne.jp

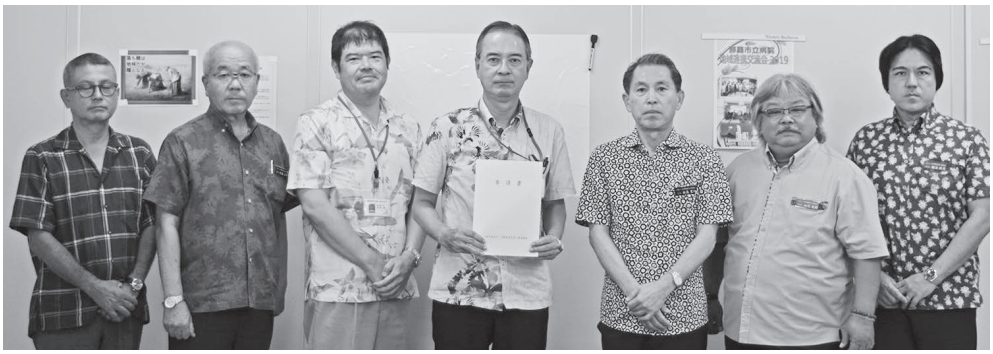
信頼と技術で快適な社会づくりに貢献する
OKIDENKO
株式会社 沖電工
代表取締役社長 大嶺 克成
〒900-0025 沖縄県那覇市壺川二丁目11番地11
TEL(098)835-9888 FAX(098)835-3627
URL http://www.okidenko.co.jp

おかげさまで50周年
光通信工業株式会社
情報通信設備・電気設備の
技術者集団で社会に貢献します
代表取締役 島袋 剛
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-4-10
TEL(098)878-5111㈹ FAX(098)870-1092

話題

分離発注方式の採用を要請

新那覇市立病院建設工事



那覇市立病院の宇地原参事監（写真右から４人目）と田原室長（同５人目）らに要請した

病院建て替え事業を進めている那覇市立病院は昨年６月、工事発注に関して一括発注が望ましいとする基本計画を策定した。県内公共施設の分離発注が一般的となっている中で、県内設備業界に衝撃が走った。これを受けて電管協は8月21日の那覇市立病院への要請を皮切りに、9月30日に那覇市健康部、11月13日には那覇市議会を訪れ、分離発注を採用するよう求める要請を展開している。

松島寛行会長は「基幹病院の設備の安全性や信頼性、効率性は重要であり、工事の一括発注は設備業者にしわ寄せが生じる恐れも否定できない。このままでは工事品質確保の大きな不安材料となりかねない」と懸念を示し、設備工事を分離発注するメリットとして①施主の設備へのニーズが施工に直接反映される②ライフサイクルコストの低減に貢献③設備にかかるコストや施工責任の所在が明確になる―などと説明。「建設工事の発注に際し、分離分割発注方式を採用していただき、県内企業の受注機会確保に特段のご高配を賜りたい」と要望した。

電管協の要請に対して、那覇市立病院事務局の宇地原靖参事監と新病院建設室の田原格室長は設計段階で今後検討していきたいとしながらも、工事発注についてイニシャルコスト削減や工事の管理体制を踏まえ、一括での発注を考えているなどと説明。また、那覇市健康部の長嶺達也部長は「那覇市の政策としてどうあるべきか考えていきたい」と明確な回答を避けた。

那覇市議会の久高友弘議長は「意見をしっかりと受け止め、委員会で活発に議論を進めていきたい。県内の設備業界発展のためにできるだけの努力をしていく」と回答した。

基本計画によると新病院は、病院本館と立体駐車場2棟、保育園、エネルギーセンターなどで構成。敷地は現病院の2万5188㎡、病院本体のみの施設規模は延床面積約3万7000㎡（建築面積約4300㎡）。免震構造の470床、内科、呼吸器内科など現在の標榜科目30科目を維持する。

工事は、2020年度に現病院の一部施設などを解体して第1立体駐車場を整備し、21年度から病院本体工事に着手予定。工期は3年半～4年程度で25年度の完成・開院を目指す。概算事業費は総額256億～260億円を見込んでいる。

設備面では、維持管理費の抑制を図るため、安定性、経済性、保守性を考慮し、大規模災害時に医療機能を継続して提供できる2回線受電、非常用自家発電装置、コージェネレーションシステムなど多方面の供給システムを保持。ＬＥＤ照明や人感センサー式といった省エネ型設備、適切な空調コントロールシステム、節水型衛生設備などを採用する。昨年8月には基本設計業務を㈱梓設計・㈱ワールド設計・㈱国吉設計ＪＶに委託、設計作業の中で具体的な施設内容なども取りまとめられる。

那覇市健康部の長嶺部長（写真左から３人目）に要請文を手渡した

那覇市議会の久高議長（写真左から４人目）らに陳情した

話題

低炭素社会づくりへ責任果たす　働き方改革でＢＩＭ活用

日空衛が宜野湾市で第 26 回全国会議を開催

全国から約 370 人の会員が出席した

電管協の上部団体である（一社）日本空調衛生工事業協会（日空衛、長谷川勉会長）は10月 23日、宜野湾市のラグナガーデンホテルで第 26回全国会議を開き、各都道府県から約370人の会員が出席。「空調衛生工事業の独自性の確立～地方の特色を生かし魅力ある業界を目指して～」を基本課題として基調講演や事例発表が行われ、低炭素社会づくりに向けて技術や経験を生かして責任を果たすとともに、働き方改革や生産性の向上に取り組み魅力ある業界づくりを進めていくことを確認した。

冒頭あいさつした長谷川会長は「最適な設備を責任をもって提供するという使命の達成を通じて社会的責任を果たすとともに、積極的な情報発信によって業界のプレゼンスを向上させていく」と方針を示した。

会議の基調講演では、琉球大学工学部環境建設工学科の堤純一郎教授が「気候変動に対して空調衛生設備がなすべき緩和策と対応策」をテーマに講演。気候変動に対する空調衛生設備業の適応策として、気候特性を考慮した設備メンテナンス、将来的な気候変動幅を見込んだ冷房・暖房への配慮―などを紹介し、対応を促した。事例発表は、双峰設備㈱（長崎県）の曽和英徳社長、沖縄科学技術大学院大学の岩澤錠児博士が行った。

本部報告では、経営活性化委員会の三石栄司主査が働き方改革の推進に関する2018年度のアンケート結果などを報告。休日取得は21年3月末までに4週 6休以上とする目標に対して、従業員 100人未満の企業では依然として、未達成の企業も多いことから、対策が必要になるなどと指摘した。

大会後に開かれた懇親会には、沖縄県土木建築部の島袋登仁雄建築都市統括監や（一社）沖縄県建設産業団体連合会の下地米蔵会長らが来賓として出席したほか、平敷屋エイサー保存会によるエイサーや具志堅ファミリーによる三線の演奏が披露され、会場全体が盛り上がった。

大会の成功を支えた電管協青年部らと長谷川会長（前列中央）

大会後に開かれた懇親会

話題

電気保安功労者表彰で八電工ら１社４人が受賞

日本電設の渡嘉敷氏が澁澤賞

電気保安功労者表彰式

澁澤賞を受賞した渡嘉敷氏

経済産業省那覇産業保安監督事務所（玉城秀一所長）と沖縄電気安全･使用合理化委員会（島袋清人委員長）は11月20日、那覇市の沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハで2019年度の電気保安功労者表彰式を開き、電気保安の確保に顕著な功績のあった法人1社、技術者4人に表彰状を授与した。

表彰では、石垣市の㈱八電工（嵩原督社長）が電気工事業者営業所の部で経済産業省那覇産業保安監督事務所長表彰に輝いた。また、沖縄電気安全・使用合理化委員会委員長表彰の個人の部（主任技術者）で照屋剛氏（沖縄電力㈱）、同じく個人の部（電気工事士）で新垣久重氏（㈲仲村電気工事社）、新城隆治氏（金城電気工事㈱）、瀬名波実氏（㈲大翔電工）ら4人が受賞した。

また、㈱日本電設の技術者養成所の所長を務める渡嘉敷唯幸氏が電気の保安確保に多年にわたり貢献した者を表彰する第64回澁澤賞を受賞した。同賞受賞者は県内10人目。表彰式は11月19日に東京都内で開かれた。

渡嘉敷氏は社内に技術養成所を開設。第1種・第2種電気工事士、第3種電気主任技術者の資格取得に向けた講習会の講師を38年間務め、延べ約1800人の合格者を輩出した。

渡嘉敷氏は「県内の電気技術者の技能および技術向上に向けて、講習会には社外からも受講生を受け入れて指導してきた。もう少しがんばって、一人でも多くの若手技術者を業界に送り出せるよう尽力していく」と、さらなる後進の育成に意欲を示した。

Intertek ISO9001:2015 ISO14001:2015 認証取得
UKAS MANAGEMENT SYSTEMS 014 認証取得

OKU-DEN
株式会社奥原電設
代表取締役社長 奥原 聡

営業種目
※送配電設備・屋内配線・弱電設備
※電気土木・設計積算施工
※沖縄電力配電線工事

本社 〒902-0076 那覇市字与儀三八〇番地の八 電話（〇九八）八五四-九六七六 FAX（〇九八）八三三-四七一二
豊見城事業所 豊見城市字長堂一八〇番地三 電話（〇九八）八四〇-六八八二 FAX（〇九八）八四〇-六八八三
中部支店 〒904-0115 沖縄市美原一丁目一八番二六号 電話（〇九八）九三四-〇〇三九

GCC Certified ISO9001 ISO14001
OKIDENSUI
信頼で創るより良い環境
沖電水工事株式会社
代表取締役 小波津 聰
〒900-0016 那覇市前島二丁目一番十号
電話（〇九八）八六七-六三一一
FAX（〇九八）八六八-三二八二

建設技術で地域社会に貢献
株式会社テクノ工業
代表取締役 会長 島袋 公功
代表取締役 社長 下地 稔
■テクノ工業 本社
〒904-2161 沖縄県沖縄市古謝三丁目26番11号
TEL.098-938-0262 FAX.098-938-0166
■読谷支店
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良皆356番地
TEL.098-921-9810 FAX.098-921-9811
ISO 9001･ISO 14001 認証取得

話題

会員企業が各種表彰に輝く

那覇電工・紫電舎・沖永開発ら

旭日双光章を受賞した安里邦夫社長
(㈱沖永開発)

建設マスターの大城良夫氏
(㈱那覇電工)

建設ジュニアマスターの幸地真紀氏
(㈱紫電舎)

昨年、秋の勲章や建設マスター・ジュニアマスター、建設工事統計調査国土交通大臣表彰、県内発注機関などの各種表彰が行われ、会員企業の技術力の高さや安全施工、企業・個人の活動などが評価された。2019年８月から2020年１月までに各種表彰・勲章を受賞した会員企業を紹介する(敬称略)。

■建設マスター

令和元年度優秀施工者国土交通大臣顕彰

大城　良夫（㈱那覇電工）

■建設ジュニアマスター

令和元年度青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰

幸地　真紀（㈱紫電舎）

■旭日双光章（中小企業振興功労･地方自治功労）

安里　邦夫（㈱沖永開発）

■建設工事統計調査国土交通大臣表彰

日進電気土木㈱

㈱アサヒプラント

■沖縄市優良建設工事業者表彰

重信電気工事㈱・㈲沖送電ＪＶ「沖縄市立美東中学校校舎新増改築工事（電気設備工事）２工区」

三協電設㈱「安慶田市営住宅建替事業（第３期）１工区（電気設備工事）」

三建設備㈱「安慶田市営住宅建替事業（第３期）２工区（機械設備工事）」

■嘉手納町優良建設工事業者表彰

㈱比謝川電気「総合福祉センター照明器具取替工事」

OJANA DENKO

代表取締役　山城　克己

電管協会員

電気工事･設計･見積･施工･空調設備

㈲大謝名電工

〒901-2216 宜野湾市字佐真下40番地

☎(098)897-4806 Ⓕ(098)897-9630

E-mail:oj-denko-k@nirai.ne.jp

～情報通信の総合エンジニアリング企業～

琉球通信工事 株式会社

代表取締役社長　外間　元三

電気通信工事・電気設備工事・土木工事一式

ドコモ携帯電話の販売・光工事機器レンタル

http://ryutuko.co.jp/

〒902-0067　那覇市安里３丁目４番12号

TEL 098-867-4111　FAX 098-867-4113

Intertek
ISO9001:2015 認証取得
ISO14001:2015 認証取得
OHSAS18001:2007 認証取得

株式会社祖慶電設工業

電気設備工事・設計施工

代表取締役　祖慶良昌

本社　〒九〇一―〇一五三　那覇市小禄三丁目十番地三　TEL(〇九八)八五七―五七二四

豊見城営業所　〒九〇一―〇二三四　豊見城市字与根三四〇番地二　TEL(〇九八)八四〇―六一〇〇

会員ら約240人が参加

平和祈念公園でボランティア清掃

平和記念公園清掃

電管協は10月4日、糸満市の平和祈念公園でボランティア清掃を実施、会員企業から約240人が参加して、ゴミ拾いや礎の拭き掃除に汗を流した。

電管協のボランティア清掃は、（公財）沖縄県平和祈念財団（新垣雄久会長）が主催する同公園愛護活動の呼び掛けに応じて、毎年実施している。

主催者あいさつで（公財）沖縄県平和祈念財団の上原兼治常務理事は「電管協から200人以上の皆さまが参加してくださるなど心強い愛護活動になっている。平和祈念公園が県民憩いの公園として、また立派な観光地として維持管理できているのは参加してくださる皆さまのおかげた」と謝意を示した。

松島寛行会長は「平和祈念公園には戦争で亡くなられた方の氏名を刻んだ平和の礎や慰霊塔などが建立されている。心をこめて清掃活動に取り組んでいただきたい」と呼びかけた。

電管協の会員らは、国立沖縄戦没者墓苑や各都道府県の慰霊塔・碑の周辺で、会員企業の高所作業車3台による樹木の剪定作業や清掃活動を行った。

中部や宮古、八重山地区の会員が清掃活動

県土木事務所主催の道路クリーン作戦

中部土木事務所主催の道路クリーン作戦の参加者

電管協は、8月の道路ふれあい月間の一環として実施されている中部・宮古・八重山の各県土木事務所主催の道路クリーン作戦に協力した。

8月28日には、宮古土木事務所主催の道路クリーン作戦が宮古島市内の国道390号線沿いで行われ、電管協からは会員多数が参加。

また、同日、八重山土木事務所は国道330号や石垣港伊原間線、富野大川線、石垣空港線、美崎町新栄通り、産業道路などで道路クリーン作戦を展開。参加した八重山地区の会員らは、配布されたビニール袋を手に約1時間半、沿道や植え込みの中から空き缶やペットボトル、弁当ガラなどプラスチック系ごみなども合わせ計67袋分を回収した。

8月29日に中部土木事務所が開催した道路クリーン作戦には会員企業から25人が駆け付けた。沖縄市の県道アワセベイストリート沿道で、草刈りやごみ拾いで汗を流した。

※※ でんき・元気で
明るい未来を創造 ※※
YAMADEN
代表取締役社長 山 川 光 雄
株式会社 山川電気
《本社》〒902−0078
沖縄県那覇市識名2−15−15（101号）
TEL：０９８−９８７−１４２０
FAX：０９８−９８７−１４１８
《支店》〒901−0203
沖縄県豊見城市字長堂３５０−１
TEL：０９８−８５６−１２７８
FAX：０９８−８５６−１２００
E−mail：y_mitsuo@yamadenki.co.jp
●電気工事 ●電気通信工事 ●消防施設工事
●太陽光発電設備 ●空調工事

那覇・中部・北部・八重山・宮古で会員向け説明会

沖縄総合事務局との災害復旧支援協定への理解求める

12月11日に電管協で行われた説明会

電管協は12月11日、那覇市の電管協会館で沖縄総合事務局と締結した災害復旧支援協定の会員向け説明会を開いた。12日には沖縄市の建設会館で実施したほか、13日に名護市の伊佐川公民館、23日に宮古島市の宮古建設会館、24日に石垣市の八重山建設会館でも開催した。同協定は3月29日に沖縄総合事務局と結んだもの。災害発生時に電管協が会員企業の資機材等を確保し、開発建設部が所管するダム、道路、公園、営繕、港湾の関係施設における電気設備、空調・衛生設備等の災害復旧にあたることで、災害対応の確実性を高める。

比嘉広明副会長は「災害発生時に動ける体制でないと意味がない。年度内に訓練を実施するので、各社に持ち帰って、確実に情報を共有し準備していただきたい」と呼びかけた。

説明会では、会員らに同協定の内容や災害時の対応マニュアルなどを解説。電管協の災害時緊急連絡網の作成のために各社の担当者を決めるよう求めた。

12月12日には中部地区で実施

株式会社 永山組
空調・給排水・衛生・土木・消火
代表取締役 阪井 邦雄
〒九〇〇―〇〇〇一 那覇市港町二丁目十四番七号
TEL(〇九八)八六七―三三八七
FAX(〇九八)八六七―三八三二

確かな技術で 信頼のエレクトリックワーク
KEC 金城電気工事㈱
代表取締役社長 吉濱 功佑
〒902-0067
那覇市安里3丁目6番29号
電話(098)867-7311
FAX(098)867-7323

南部電工株式会社
沖縄電力株式会社配電工事委託協力会社
電気工事・土木工事・電気通信工事
代表取締役社長 石 川 俊 三
〒901-0306
沖縄県糸満市西崎町5-6-20
ISO9001：2015 認証取得
TEL (098) 994-2607
FAX (098) 992-3026

労働災害撲滅へ会員一丸

安全衛生大会を開催

会員全員で安全スローガンを指差し唱和した

電管協は12月20日、第37回安全衛生大会を開催した。会員ら約60人が参加して、労働災害の防止に向けて決意を新たにした。

冒頭、松島会長は「会員一丸となって労働災害の撲滅に向けた活動を展開していきたい。会員各社でも危険の芽を摘み取り、職場環境の改善など目標達成に向けて取り組んでほしい」と強調した。

大会では、沖縄労働局健康安全課の長濱直次課長は県内の労働災害発生状況について説明。「安全・健康に働ける現場の実現を目指していこう」と呼びかけた。

続いて行われた基調講演では建設業労働災害防止協会沖縄県支部の仲尾清栄氏が登壇し、フルハーネス型安全帯について解説した。2019年２月に改正された「労働安全衛生法施行令」で高所作業でのフルハーネスの使用が原則化され、使用する場合には特別教育の受講が必要になったことを紹介した。

最後に㈱沖創工の中村光善氏による発声で安全スローガンを指差し唱和し、安全意識を高めた。

労災防止へ安全パトロール

宜野湾高・ともかぜ振興会館・石嶺小現場を巡回

宜野湾高校のパトロールに参加した皆さん

那覇・南部地区のパトロールには14人が参加

電管協は１月24日、中・北部地区安全パトロールを実施し、比嘉広明安全対策委員長ら６人が宜野湾高校校舎改築工事（機械･除湿換気）の現場を巡回した。パトロールではチェックリストに沿って、開口部や足場、ＫＹ活動の実施状況などを丁寧に点検した。パトロールを終えて比嘉委員長は「各工区と協力し合って工事を進めていることが分かる良い現場だ。さまざまな業種がいる中で、自分の身は自分で守るという強い意識が必要。独自の視点を持って安全を確保してほしい」と話した。

また同月28日には、那覇・南部地区安全パトロールを開催。比嘉委員長ら12人が参加したほか、建設業労働災害防止協会沖縄県支部安全衛生推進委員の仲尾清栄氏、加屋本善文氏らが同行し、ともかぜ振興会館建設工事（電気・舞台音響・舞台照明、衛生設備・空調設備）、石嶺小学校改築工事（電気、空調、衛生）の現場を訪問、適切な安全管理が行われているかを確認した。

工業高校教諭と意見交換会

高校側が生徒の県外流出抑制に協力求める

採用状況や高校生の就職活動の特徴について意見を交わした

電管協は８月26日、那覇市の電管協会館で県立工業高校の電気・機械（管）担当教諭との意見交換会を開き、工業高校生の就職活動や企業の採用活動について意見を交わした。

電管協からは松島寛行会長ら執行部と、担い手確保・育成委員の仲原泉理事、小谷和幸専務理事らが出席。工業高校からは、県立南部工業高校、県立美里工業高校の教諭ら３人が参加した。

意見交換会では、電管協側が各企業の採用活動の現状や課題を共有。「毎年新入社員を確保できているが、最近は転職が当たり前になっているため､長く働いてもらうというのが課題だ」「高卒５年目で資格も取得した社員が全く別の業界に転職した」など、人材を確保しても数年で退社するといった事例が多く挙がった。

一方、工業高校の教諭は、最近の就職活動の特徴として、優秀な生徒や意欲のある生徒に県外就職を希望する生徒が多いと説明。県外流出を防ぐ他県の取り組みとして、熊本県では行政や学校、企業が協力して、県内就職を促す取り組みを実施していると紹介し、生徒の県外流出を防ぐために電管協からも声をあげてほしいと協力を求めた。

電管協は「県外流出を防ぐために協会としてできることはやっていきたい」と回答。その上で「県外就職して、数年後に沖縄に戻ってくる方も多いと聞いている。過年度卒業生で、県内に戻ってきた人を紹介していただけるような仕組みがあれば」と要望した。

適正な工期設定など８項目を協議

県土建部と意見交換会

電管協は８月23日、県庁で県土木建築部との意見交換会を実施した。県土建部から多和田真忠技術・建設業課長ら13人が出席、電管協からは松島寛行会長ら８人が参加した。

電管協は会員から要望のあった①適正な工期の設定と受変電時期及び設備の総合試運転期間の考慮について②工事の一時中止、工期延長に係る経費について③総合評価落札方式の拡大など入札関連事項④複数年工期工事における支払限度額の調整⑤ JV 工事における配置技術者の要件緩和⑥発注・施工時期の平準化⑦均等な受注機会の確保⑧共通仮設費負担区分の明記―の８点を要望。

このうち、適正な工期の設定について電管協は「必要な工期より短い工期設定は、長時間労働の是正や週休２日の確保が困難となり、円滑な施工や担い手確保にも支障がでる」と説明し、後工程にしわ寄せがないよう求めた。

これに対して県は「工期の設定は『公共建築工事における工期設定の考え方』に基づき、工事場所の周辺環境や不稼働日などを考慮して適切に設定している」と基本方針を示した上で「建築業者の理解も必要だ。建築工事の特記仕様書に概成工期を記載して対応する」と回答した。

会員からの要望事項について協議した

職場環境改善で若者定着

働き方改革の理論と実践研修会

講習ではグループワークを行った（円内は講師の廣津氏）

電管協は11月15日、那覇市の電管協会館で「建設業の若者を定着させる働き方改革の理論と実践」研修会を開催し、会員ら33人が参加した。講師はヒロＴ＆Ｔ㈱の廣津榮三郎代表取締役が務め、若年社員の採用率を向上させる方法や若年社員の3年定着率9割を目指すための取り組みなどを紹介した。

廣津氏は、新規高卒者採用のポイントとして「高校生の採用活動は大学生の採用に比べて短期決戦の側面があるが、実際は高校2年生の夏休みのインターンシップから始まっている。そのため、1年生の3学期から学校にアプローチする必要がある」と強調。

採用力の向上には、出前講座や現場見学会の開催、学校へのあいさつなど、高校生や教諭との接点を増やし、建設業への理解を得る活動が効果的だと説明した。

また、若者が抱く建設業へのマイナスイメージを紹介した上で、職場環境の改善や人間関係の向上、スキルアップへの手助けなどが必要だと指摘。若年社員の3年後定着率を高めるために、働き方改革の取り組みを活用した有給休暇取得の促進や資格取得勉強会の開催などを実施するほか、日常のあいさつに一言加えてコミュニケーションを取ることで、若者の心をもみほぐすことが必要だと紹介した。

受験講習会を開催

1級電気施工管理実地対策

熱心に受講する参加者ら（円内は講師の伊集氏）

電管協は9月13日、那覇市の電管協会館で10月20日の1級電気工事施工管理技術検定実地試験に向けた受験対策講習会を開催し、27人が受講した。

講師は、電気設備全般や法規を西部電気工業㈱沖縄支店の伊集守昭担当課長、施工管理、施工経験記述指導を電技研の知花順功所長が務め、出題頻度の高い分野を中心に講義。

講習前に受験ガイダンスを行った（一財）地域開発研究所の上條勝実氏は「各分野からまんべんなく出題されるので、学習範囲を絞るのは難しい。過去に出題された問題をベースに何度も出題される箇所を中心に勉強してほしい」とアドバイスした。

電気・消防設備・空調設備//設計・見積・施工
三協電設株式会社
代表取締役社長 島袋　吉充
本　社　沖縄市与儀２丁目８番３号
〒904-2174 電　話(098)932－2315 ㈹
FAX(098)932－7711
E-mail: sankyo-d@arion.ocn.ne.jp

県社協に寄付 チャリティゴルフ収益金

國和設備工業の金城氏が２年連続優勝

チャリティーゴルフコンペに参加した皆さん

電管協青年部会（新垣昌彦部会長）主催による第5回チャリティコンペが8月30日、八重瀬町のパームヒルズゴルフリゾートクラブで開催された。

コンペには青年部会員ら45人が参加してラウンドした。ラウンド後の表彰式で新垣昌彦部会長は「今日は天気にも恵まれ、熱中症で体調崩す人もいなくて、皆さん楽しいプレーができたと思う。寄付金にも協力いただき感謝している。青年部会として沖縄県社会福祉協議会に寄付を行って活用してもらいたい」と挨拶した。

優勝した金城氏

その後、各入賞者の発表と表彰が行われ、金城一志氏（國和設備工業㈱）が昨年に続き優勝を飾った。優勝した金城氏は「天気にも、メンバーにも恵まれて、昨年に続いて優勝することができて嬉しい」と笑顔を見せた。このほか、準優勝は平川栄氏（㈱アサヒプラント）、3位は天願智一氏（沖縄水質改良㈱）、ベストグロスはトータル78の比嘉靖氏（㈲ヤマウチ設備）となった。

新垣部会長（左から２人目）が湧川会長（同３人目）に目録を手渡した

9月24日には、新垣部会長と照屋昌太郎副部会長が那覇市の沖縄県社会福祉協議会を訪ね、チャリティゴルフの収益金を寄付した。

新垣部会長は「社会福祉向上のためにお使いいただきたい。今回で6回目となるこの活動を末永く続けていきたい」と語り、湧川昌秀会長に寄付金目録を手渡した。

湧川会長は「皆さまの汗水を凝縮したものが今回の寄付金だと思う。お寄せいただいた貴重なご浄財は社会福祉活動の推進に有効に活用させていただく」と謝辞を述べた。

同部会では、チャリティゴルフ大会のほか、ボランティア清掃活動や献血活動などの社会貢献活動を実施しており、今後も継続していきたいと話した。

YASHIMA
ヤシマ工業株式会社
地球温暖化防止に貢献します。
沖縄県那覇市久米二丁目16番25号
http://www.yashima-kogyo.com
ZEB PLANNER ZEB29P-00105-GC
azbil EMS エネマネ
エコチューニング事業者（第160033号）

KUME DENSO
株式会社 久米電装
24時間365日、ビル遠隔監視します。
沖縄県那覇市久米二丁目16番25号
http://www.kumedenso.co.jp
地域未来牽引企業 日本ファシリティマネジメント協会
JFMA
エコチューニング事業者（第160033号）

◆第３回理事会次第◆

日時：令和元年８月20日（火）14：00
場所：電管協会館３Ｆ中ホール

議　　題
〔審議事項〕
１．協会加入について
〔報告・その他事項〕
１．沖縄総合事務局との意見交換会について
２．（一社）日本空調衛生工事業協会九州沖縄支部総会について
３．（一社）日本空調衛生工事業協会理事会について
４．国土交通大臣表彰（中江均氏）について
５．おきなわ建設フェスタへの協賛について
６．各委員会報告について
（１）第１回運営・広報委員会（委員長　親泊政夫）
（２）第1、2回政策委員会（委員長　仲田一郎）
（３）第１回担い手確保・育成委員会（委員長　山川光雄）
（４）第１回安全対策委員会（委員長　比嘉広明）
７．県産品要請団来会、ゆいまーる献血について
８．職務執行状況報告について

◆第４回理事会次第◆

日時：令和元年10月８日（火）14：00
場所：電管協会館３Ｆ中ホール

議　　題
〔審議事項〕
１．協会加入について
２．青年部会長の理事会出席（オブザーバー）について
〔報告・その他事項〕
１．新那覇市立病院に関する要請について
２．沖縄県土木建築部との意見交換会について
３．工業高校との意見交換会について
４．（一社）日本電設工業協会理事会について
５．（一社）日本空調衛生工事業協会理事会について
６．日空衛全国会議について
７．清掃ボランティアについて
８．第４回おきなわ建設フェスタへの協賛のお願いについて
９．即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀等に伴う警備強化について
10．建設マスター・建設ジュニアマスター顕彰について
11．職務執行状況報告について

◆第５回理事会次第◆

日時：令和元年 12月 10日（火）14：00
場所：電管協会館３Ｆ中ホール

議　　題
〔審議事項〕
１．青年部への支援金贈呈について
２．次年度の青年部交付金について
〔報告・その他事項〕
１．沖縄総合事務局との災害支援協定に関する説明会開催について
２．新那覇市立病院に関する要請について
３．日空衛全国会議について
４．（一社）日本空調衛生工事業協会理事会について
５．第４回おきなわ建設フェスタについて
６．「建設業の若者を定着させる働き方改革の理論と実践」研修会について
７．委員会報告について
（１）第２回運営・広報委員会（委員長　親泊政夫）
（２）第２回安全対策委員会（委員長　比嘉広明）
８．　天皇陛下御即位奉祝沖縄県実行委員会について
９．沖縄労働局長からの要請について
10．令和２年会議等の予定について
11．安全パトロールについて
12．新年賀詞交歓会について
13．職務執行状況報告について

新 入 会 員 紹 介

≪正会員≫　株式会社　シンテック　（那覇市）

代表取締役
新里　順一

■略　　歴
県立首里高校卒業
東海大学工学部卒業
菱洋エレクトロを経て、明伸開発創業。
㈱シンテックに商号変更。現在に至る。

■出 身 地　那覇市
■座右の銘　為せば成る、為さねば成らぬ何事も　成らぬは人の為さぬなりけり
■趣　　味　ゴルフ、旅行

≪正会員≫　株式会社沖縄ダイケン　（那覇市）

代表取締役社長
山盛　博文

■略　　歴
昭和 34 年 9 月 29 日生まれ
昭和 57 年 5 月　㈱沖縄ダイケン　入社
平成 29 年 6 月　㈱沖縄ダイケン　代表取締役社長就任

■出 身 地　竹富町
■座右の銘　継承と改革
■趣　　味　海・沖釣り

令和元年度

各委員会活動状況

一般社団法人　沖縄県電気管工事業協会

運営・広報委員会

（令和元年度）第２回11月14日（木）12：00

１．議題

（１）会報第74号の発行について

・表紙の写真については「宮古島市未来創造センター」に決定した。

・「視点」については沖縄県知事公室防災危機管理課　課長　石川欣吾氏に寄稿の依頼することに決定した。

・新春会長対談については、沖縄総合事務局次長　小口浩氏に決定した。

・企画特集については、日空衛全国会議、第4回おきなわ建設フェスタ、首里城火災等について紹介することにした。

・裏表紙の広告については、次回より2分割して会員企業から募集することにこととした。

※後日、光電気工事㈱に裏表紙の広告を依頼し、了承を得た。

・会報の送付先として、県内主要図書館、学校、職業訓練校等にも贈呈することとした。

（２）「建設業の若者を定着させる働き方改革」研修会について

・研修会の参加者が目標に達していないので、委員の参加を呼びかけた。

（出席）

親泊政夫、小波津聰、中江均、山内聰、小谷和幸、知念徹

（オブザーバー）

眞志喜光（沖縄建設新聞）

（欠席）

大嶺克成

政策委員会

（令和元年度）第１回７月５日（金）12：00

１．議題

（１）沖縄総合事務局との意見交換会について

・７月24日に開催される、沖縄総合事務局との意見交換会への議題について、事前に会員から意見・要望等を提出していただいたものを集約し、それを基に委員会にて検討した。

（出席）

仲田一郎、外間元三、下地稔、渡真利剛、吉濱功佑、奥原聡、小谷和幸、知念徹

（令和元年度）第２回８月８日（木）12：00

１．議題

（１）沖縄県土木建築部との意見交換会について

・８月23日に開催される、沖縄県土木建築部との意見交換会への議題について、事前に会員から意見・要望等を提出していただいたものを集約し、それを基に委員会にて検討した。

（２）沖縄総合事務局との意見交換会について

・７月24日に開催された、沖縄総合事務局との意見交換会の報告をした。

（出席）

仲田一郎、下地稔、吉濱功佑、奥原聡、小谷和幸、知念徹

（欠席）

外間元三、渡真利剛

安全対策委員会

（令和元年度）11月18日（月）12：00

1．議題

（1）安全パトロールについて

・今年度の安全パトロール現場は、ともかぜ振興会館、石嶺小学校、宜野湾高校の３現場に決定した。

（2）安全衛生大会について

・12月20日安全衛生大会を開催するにあたり、基調講演のテーマは「フルハーネス型安全帯について」を依頼することとした。また、フルハーネスについての講習なども今後検討することとなった。

（3）沖縄総合事務局との災害協定について

・災害支援協定に関する説明会を県内５箇所で開催することとした。

（出席者）

比嘉広明、田端智、伊佐一、玉城信六、宮城剛、小谷和幸、知念徹

（欠席者）

後上里悟

担い手確保・育成委員会

（令和元年度）第１回８月７日（水）12：00

1．議題

（1）新入社員研修について

・３Ｄ―ＣＡＤやＴｆａｓの研修について、ニーズがどれだけあるか会員にアンケートを取り、その結果を見て計画を立てることにした。

（2）公共事業労務費調査の実施について

・今年も労務費調査説明会を電管協にて開催予定との説明をした。

（3）外国人材の受入等の状況調査について

・会員企業へ外国人材の受入状況のアンケートを実施した結果を報告した。

（４）工業高校担当教諭との意見交換会について

・７月26日に開催される工業高校担当教諭との意見交換会について、会員の雇用状況調査を集計し議題にすること等を説明した。

（出席者）

山川光雄、上江洲博、仲原泉、知念徹

（欠席者）

金城稔、石原清正、小谷和幸

（令和元年度）第２回12月10日（火）15：00

１．議題

（１）新入社員研修について

・３Ｄ－ＣＡＤの研修について協議したが、コストが高い事と受け入れ体制が十分でないことから、今年度も前回同様ＪＷ－ＣＡＤの研修を開催することとした。また、ＣＡＤ以外の研修（ビジネスマナー、建設業の基本知識等）についても引き続き検討していくこととした。

（２）体験入隊研修に関する企業アンケートについて

・企業側も概ね好意的な結果となったので、引き続き体験入隊研修を継続していくこととした。

（出席者）

山川光雄、上江洲博、仲原泉、小谷和幸、知念徹

（欠席者）

金城稔、石原清正

電管グリーン入会のご案内！

50年以上の歴史ある電管協のゴルフコンペに入会しませんか。

ゴルフを楽しみながら会員相互の親睦を深め、組織の充実強化、設備業界の発展を目指します。会社単位での入会となりますので、コンペはどなたでも参加できます。初心者から上級者まで、年齢は問いません。

詳しくは、電管協事務局まで

電　話：０９８(８６８)－８４００

E-mail：info@denkankyo.or.jp

◇大　会　要　項　（抜粋）

1．開催日時：原則毎月第３木曜日

2．開催場所：琉球ゴルフ倶楽部

3．会　　費：年間 25,000円

4．競技方法：18H ストロークプレイ
ハンディキャップ方式

5．表 彰 式：プレー終了後、同ゴルフ場にて行う。

コンペ会場の琉球ゴルフ倶楽部

電管協グリーンコンペ結果報告（令和元年7月～12月）

1968年（昭和43年）スタート

第607回

開催日　7月18日（木）
場　所　琉球ゴルフ倶楽部
成　績

優　勝	松島寛和	
準優勝	吉濱功佑	
第3位	比嘉幸宏	
ベストグロス	安慶名敬三	
ドラコン賞	松島寛和	
ニアピン賞	奥原聡	前代孝夫
	宇久修	

第608回

開催日　8月22日（木）
場　所　琉球ゴルフ倶楽部
成　績

優　勝	知念徹	
準優勝	松島寛行	
第3位	外間元三	
ベストグロス	前代孝夫	
ドラコン賞	松島寛行	
ニアピン賞	下地光吉	仲田一郎
	宇久修	大嶺克成

第609回

開催日　9月19日（木）
場　所　琉球ゴルフ倶楽部
成　績

優　勝	當銘直彦	
準優勝	仲田一郎	
第3位	知念徹	
ベストグロス	上原司	
ドラコン賞	當銘直彦	
ニアピン賞	知念徹	上原司

第610回

開催日　10月17日（木）
場　所　琉球ゴルフ倶楽部
成　績

優　勝	新垣昌彦	
準優勝	外間元三	
第3位	安富哲	
ベストグロス	當　銘　直　彦	
ドラコン賞	仲松安男	
ニアピン賞	外間元三	安富哲
	金城憲明	

第611回

開催日　11月21日（木）
場　所　琉球ゴルフ倶楽部
成　績

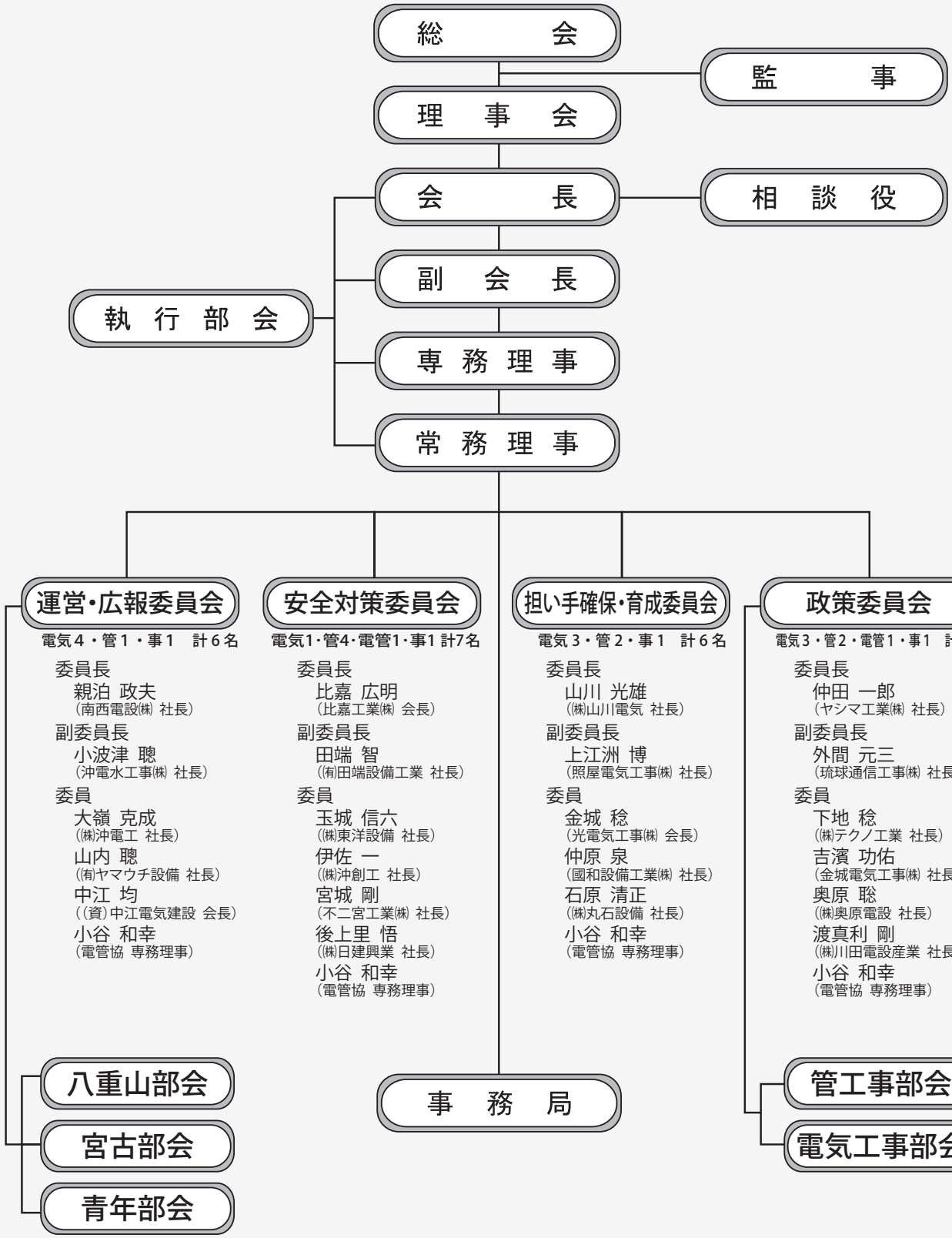
優　勝	前代孝夫	
準優勝	安富哲	
第3位	宇久修	
ベストグロス	比嘉幸宏	
ドラコン賞	仲里進	
ニアピン賞	宇久修	比嘉幸宏
	真保栄崇	宮里直和

第612回

開催日　12月19日（木）
場　所　琉球ゴルフ倶楽部
成　績

優　勝	山川智央	
準優勝	外間元三	
第3位	宇久修	
ベストグロス	松島寛行	
ドラコン賞	松島寛行	
ニアピン賞	松島寛行	前代孝夫
	大嶺克成	西江朝基

運営機構図


総会
監事
理事会
会長
相談役
副会長
執行部会
専務理事
常務理事
運営・広報委員会
電気４・管１・事１　計６名
委員長
親泊 政夫
（南西電設㈱ 社長）
副委員長
小波津 聰
（沖電水工事㈱ 社長）
委員
大嶺 克成
（㈱沖電工 社長）
山内 聰
（㈲ヤマウチ設備 社長）
中江 均
（（資）中江電気建設 会長）
小谷 和幸
（電管協 専務理事）
安全対策委員会
電気1・管4・電管1・事1 計7名
委員長
比嘉 広明
（比嘉工業㈱ 会長）
副委員長
田端 智
（㈲田端設備工業 社長）
委員
玉城 信六
（㈱東洋設備 社長）
伊佐 一
（㈱沖創工 社長）
宮城 剛
（不二宮工業㈱ 社長）
後上里 悟
（㈱日建興業 社長）
小谷 和幸
（電管協 専務理事）
担い手確保・育成委員会
電気３・管２・事１　計６名
委員長
山川 光雄
（㈱山川電気 社長）
副委員長
上江洲 博
（照屋電気工事㈱ 社長）
委員
金城 稔
（光電気工事㈱ 会長）
仲原 泉
（國和設備工業㈱ 社長）
石原 清正
（㈱丸石設備 社長）
小谷 和幸
（電管協 専務理事）
政策委員会
電気3・管2・電管1・事1　計7名
委員長
仲田 一郎
（ヤシマ工業㈱ 社長）
副委員長
外間 元三
（琉球通信工事㈱ 社長）
委員
下地 稔
（㈱テクノ工業 社長）
吉濱 功佑
（金城電気工事㈱ 社長）
奥原 聡
（㈱奥原電設 社長）
渡真利 剛
（㈱川田電設産業 社長）
小谷 和幸
（電管協 専務理事）
八重山部会
宮古部会
青年部会
事務局
管工事部会
電気工事部会

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会

役 員 名 簿

（令和元年・２年度）

役職名	氏名	会社名	役職
会長	松島 寛行	三協電気工事㈱	会長
副会長	比嘉 広明	比嘉工業㈱	会長
〃	仲田 一郎	ヤシマ工業㈱	社長
〃	山川 光雄	㈱山川電気	社長
〃	親泊 政夫	南西電設㈱	社長
理事	金城 稔	光電気工事㈱	会長
〃	小波津 聰	沖電水工事㈱	社長
〃	中江 均	㈾中江電気建設	会長
〃	大嶺 克成	㈱沖電工	社長
〃	外間 元三	琉球通信工事㈱	社長
〃	仲原 泉	國和設備工業㈱	社長
〃	山内 聰	㈲ヤマウチ設備	社長
〃	玉城 信六	㈱東洋設備	社長
〃	下地 稔	㈱テクノ工業	社長
〃	後上里 悟	㈱日建興業	社長
〃	渡真利 剛	㈱川田電設産業	社長
〃	上江洲 博	照屋電気工事㈱	社長
〃	伊佐 一	㈱沖創工	社長
〃	田端 智	㈲田端設備工業	社長
〃	石原 清正	㈱丸石設備	社長
〃	吉濱 功佑	金城電気工事㈱	社長
〃	奥原 聡	㈱奥原電設	社長
〃	宮城 剛	不二宮工業㈱	社長
専務理事	小谷 和幸	協会事務局	専務理事

監事	與儀 盛輝	㈱オカノ	社長
〃	比嘉 幸宏	㈱那覇電工	社長

会員名簿

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕					
	株式会社　アサヒプラント	中　本　　宏	〒 901-0152	那覇市小禄2丁目8番地10	
		(098)858-0388	(098)889-0079	昭和 61 年 1 月 21 日	9001:2000（H15 年 10 月 11 日）
		soumu@asahiplant.jp			
	株式会社　安謝橋電機	平　良　　博	〒 901-2101	浦添市西原2－1－3	
		(098)877-7802	(098)877-7727	昭和 41 年 4 月 1 日	9001:2000（H15 年 7 月 16 日）
		info@ajyabashidenki.jp			
	株式会社　イチゴ	國　場　幸　貞	〒 901-2101	浦添市西原5丁目1番9号	
		(098)875-0801	(098)875-0810	昭和 54 年 8 月 17 日	
		ichigo15@ii-okinawa.ne.jp			
	株式会社　浦城産業	平　良　康　成	〒 901-2113	浦添市大平2－9－1	
		(098)878-7271	(098)878-8171	昭和 59 年 11 月 2 日	9001:2000（H16 年 9 月 21 日）
		urashiro@nirai.ne.jp			
	株式会社　大城組	仲　西　　聰	〒 901-2122	浦添市勢理客4－18－5	
		(098)877-3625	(098)876-3403	大正 9 年 7 月 1 日	9001:2000（H13 年 3 月 15 日）
		k-takayama@oshirogumi.co.jp			
	株式会社　オカノ	與　儀　盛　輝	〒 900-0003	那覇市安謝1丁目23番8号	
		(098)867-1633	(098)868-0816	昭和 58 年 10 月 8 日	9001:2000（H13 年 6 月 11 日）
		setsubi-kouji@okinawa-okano.co.jp		http://okinawa-okano.co.jp	
	株式会社　沖永開発	安　里　邦　夫	〒 901-2131	浦添市牧港5－6－3　南海建設ビル3A－1号	
		(098)877-6399	(098)878-6674	昭和 45 年 3 月 11 日	9001:2000（H13 年 3 月 27 日） 14001:2004(H20 年 11 月 10 日)
		shiroma-k@okieidev.co.jp		http://www.okieidev.co.jp/	
	株式会社　オキジム	新　里　哲　郎	〒 901-2134	浦添市港川 458	
		(098) 878-7878	(098)870-1587	昭和 30 年	
		info@okijimu.co.jp		https://www.okijimu.co.jp/	
	株式会社　沖設備	山　城　邦　夫	〒 900-0025	那覇市壺川2－ 11 － 11　沖電工ビル	
		(098)835-9893	(098)835-0546	平成 7 年 9 月 18 日	
				http://www.okisetsubi.co.jp/	
	株式会社　沖創工	伊　佐　　一	〒 902-0077	那覇市長田2－5－4	
		(098)852-7070	(098)852-7072	昭和 62 年 12 月 16 日	9001:2000（H15 年 2 月 19 日）
		okisouko@lime.ocn.ne.jp		http://www.okisokou.co.jp/	
	株式会社　沖電工	大　嶺　克　成	〒 900-0025	那覇市壺川2－11－11	
		(098)835-9888	(098)835-3627	昭和 43 年 6 月 12 日	9001:2000（H14 年 3 月 20 日）
		e428@okidenko.co.jp		http://www.okidenko.co.jp/	
	沖電水工事　株式会社	小　波　津　聰	〒 900-0016	那覇市前島2－1－10	
		(098)867-6311	(098)868-3282	昭和 31 年 4 月 1 日	9001:2000（H15 年 7 月 14 日） 14001:2015 (H26 年 4 月 22 日)
		soumu.2@okidensui.co.jp			
	株式会社　沖縄工業	仲　間　寿　芳	〒 902-0072	那覇市真地197－7	
		(098)853-6507	(098)853-8500	昭和 57 年 8 月 31 日	9001:2000（H15 年 8 月 15 日）
		oki-5134@tulip.ocn.ne.jp			
	株式会社　沖縄工設	大　嶺　健　一　郎	〒 901-2111	浦添市字経塚633	
		(098)877-0504	(098)874-4626	昭和 56 年 4 月 10 日	9001:2000（H16 年 3 月 9 日）
		okikou-5@hyper.ocn.ne.jp			
	株式会社　沖縄計装工事	安　里　康　伸	〒 901-2101	浦添市西原5丁目45番1号	
		(098)874-5620	(098)874-5621	昭和 59 年 8 月 25 日	
		ksokoji@mocha.ocn.ne.jp			
	沖縄水質改良　株式会社	天　願　智　一	〒 903-0804	那覇市首里石嶺町3－8－1	
		(098)886-6321	(098)886-6322	昭和 48 年 6 月	
				https://www.osk-kk.co.jp/	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕					
	株式会社　沖縄ダイケン	山　盛　博　文	〒 900-0006	那覇市おもろまち 1-1-12	
		(098)-876-5910	(098)-876-5911	昭和 48 年 1 月 10 日	
				http://www.oki-daiken.co.jp/	
	株式会社　沖縄特電	喜　久　本　弘	〒 900-0015	那覇市久茂地3－21－1	
		(098)862-4235	(098)862-2604	昭和 48 年 4 月 4 日	9001:2000（H13 年 9 月 1 日）
		mein-1@tokuden.jp			
	沖縄パナソニック特機　株式会社	木　村　隆　夫	〒 900-0036	那覇市西2－15－1	
		(098)868-0131	(098)868-6783	昭和 46 年 7 月 1 日	9001:2000（H13 年 11 月 20 日）
		uehara.hironobu@jp.panasonic.com			
	株式会社　沖縄日立	南　公　一　郎	〒 900-0003	那覇市安謝230	
		(098)861-1045	(098)863-2762	昭和 47 年 8 月 3 日	9001:2000（H14 年 12 月 27 日）
		Okinichikouhou_Madoguchi@hbs.co.jp			
	株式会社　奥原電設	奥　原　聡	〒 902-0076	那覇市与儀380－8	
		(098)854-9676	(098)840-6969	昭和 53 年 12 月 28 日	9001:2000（H14 年 12 月 4 日）
		okuden-e@crocus.ocn.ne.jp			
	久建工業　株式会社	伊 野 波　盛 文	〒 901-0152	那覇市小禄2丁目6番地11	
		(098)857-2992	(098)857-2801	昭和 61 年 10 月 1 日	9001:2000（H15 年 2 月 19 日）
		kyuken@kyuken-k.co.jp			
	金城電気工事　株式会社	吉　濱　功　佑	〒 902-0067	那覇市安里3－6－29	
		(098)867-7311	(098)867-7323	昭和 28 年 4 月 1 日	9001：2015(H15 年 8 月 15 日) 141001:2015（H25 年 5 月 2 日）
		kec@kec-eng.com		http://www.kec-eng.com	
	有限会社　金星電設	渡 慶 次　和 美	〒 902-0072	那覇市字真地45	
		(098)855-3129	(098)855-9628	昭和 44 年 1 月 1 日	
	株式会社　久米電装	仲　田　一　郎	〒 900-0033	那覇市久米2－16－25	
		(098)863-3955	(098)861-6275	昭和 61 年 10 月 6 日	9001:2008（H24 年 12 月 18 日） 14001:2004 (H24 年 12 月 18 日)
		kmd@kumedenso.co.jp		http://www.kumedenso.co.jp	
	興南施設管理　株式会社	屋　良　学	〒 901-2131	浦添市牧港 1-60-6	
		(098)877-7269	(098)878-6566	昭和 52 年 5 月 25 日	9001:2000（H14 年 5 月 15 日）
		soumu@konan-sk.co.jp			
	國和設備工業　株式会社	仲　原　泉	〒 900-0015	那覇市久茂地3－21－1　國場ビル 10 階	
		(098)863-0100	(098)863-0394	昭和 52 年 7 月 1 日	9001:2000（H15 年 5 月 16 日）
		soumubu@kokuwa-s.co.jp		http://www.kokuwa-s.jp/	
	三栄工業　株式会社	中　村　達	〒 900-0001	那覇市港町3－2－8	
		(098)868-0191	(098)862-4314	昭和 32 年 4 月 2 日	9001:2000（H16 年 1 月 29 日）
		san-ei@san-ei-kogyo.com		http://www.san-ei-kogyo.com/	
	三協電気工事　株式会社	松　島　寛　和	〒 900-0005	那覇市字天久903	
		(098)868-8141	(098)868-2209	昭和 27 年 4 月 8 日	9001:2000（H14 年 8 月 26 日）
		gyoum@sankyoo.co.jp			
	尚平工業　株式会社	平　良　明　子	〒 901-0146	那覇市具志3－17－7	
		(098)857-8851	(098)858-1766	昭和 46 年 4 月 10 日	9001:2000（H15 年 8 月 13 日）
		shohei21@muse.ocn.ne.jp			
	株式会社　新共電気工業	新　垣　勇　誠	〒 902-0075	那覇市字国場1183－8	
		(098)855-5589	(098)889-4125	昭和 40 年 5 月 1 日	
		sinkyo@woody.ocn.ne.jp			
	株式会社　シンテック	新　里　順　一	〒 900-0004	那覇市銘苅 2-4-51	
		(098)-867-1111	(098)-868-9616	平成 5 年 9 月	
				https://www.shintec.okinawa/	
	株式会社　ゼネラル電設	新　川　秀　盛	〒 903-0802	那覇市首里大名町1－126－6	
		(098)887-3012	(098)885-7885	昭和 43 年 12 月 12 日	
		zeneraru@nirai.ne.jp			

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕

②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
	⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
	⑩メールアドレス		⑪ホームページ	
株式会社　祖慶電設工業	祖　慶　良　昌	〒 901-0152	那覇市小禄3丁目10番地3	
	(098)857-5724	(098)858-2437	昭和 53 年 12 月 11 日	9001:2000（H17 年 9 月 27 日）
	sokei.dk@iris.ocn.ne.jp			
合資会社　第一設備	武　村　　健	〒 902-0076	那覇市与儀2－12－25	
	(098)832-9617	(098)832-5766	昭和 41 年 5 月 15 日	
	okuma-ds@m1.cosmos.ne.jp			
株式会社　太閤建設	浦　﨑　家　三	〒 900-0006	那覇市おもろまち4－20－16	
	(098)951-0885	(098)865-2585	昭和 48 年 4 月 5 日	9001:2000（H14 年 12 月 20 日）
	taiken@nirai.ne.jp		https://taikoukensetu.ti-da.net/	
大成設備工業　株式会社	狩　俣　吉　信	〒 903-0804	那覇市首里石嶺町4－444－6	
	(098)871-4031	(098)871-4032	昭和 59 年 7 月 2 日	9001:2000（H14 年 12 月 26 日） 4001：2004（H28 年 10 月 25 日）
	soumu@taisei47.jp		http://taisei47.jp	
大和電工　株式会社	宮　里　敏　彦	〒 900-0031	那覇市若狭3丁目45番10号	
	(098)869-4048	(098)869-4041	昭和 42 年 5 月 20 日	
	daidenko@jassmin.ocn.ne.jp			
有限会社　田端設備工業	田　端　　智	〒 901-1302	与那原町字上与那原408－2	
	(098)946-3691	(098)945-4339	昭和 52 年 11 月 15 日	
	tabata_s@h8.dion.ne.jp			
照屋電気工事　株式会社	上　江　洲　博	〒 903-0804	那覇市首里石嶺町3－32－3	
	(098)886-2256	(098)884-3979	昭和 47 年 4 月 6 日	9001:2000（H15 年 2 月 27 日） 14001:2004（H17 年 8 月 5 日）
	teruyadenki@teruyadenkikouji.co.jp		http://www.teruya-denkikouji.jp/	
株式会社　東部電気土木	神　谷　光　准	〒 901-1302	与那原町字上与那原398	
	(098)945-2043	(098)945-1738	昭和 43 年 12 月 1 日	9001:2000（H14 年 3 月 29 日）
	honsya@tobudenki.co.jp			
株式会社　東洋設備	玉　城　信　六	〒 900-0005	那覇市天久1122	
	(098)868-6831	(098)861-5464	昭和 43 年 9 月 18 日	9001:2000（H16 年 11 月 16 日）
	eigyou@toyosetsu.co.jp		http://www.toyosetsu.co.jp/	
桐和空調設備　株式会社	名　嘉　正　隆	〒 900-0002	那覇市曙1－8－1	
	(098)861-1751	(098)867-0364	昭和 28 年 3 月 10 日	9001:2000（H15 年 12 月 17 日）
	mail@dowa-k.co.jp		http://www.dowa-k.co.jp/	
株式会社　永山組	阪　井　邦　雄	〒 900-0001	那覇市港町2－14－7	
	(098)867-3387	(098)867-3832	昭和 23 年 2 月 12 日	
株式会社　那覇電工	比　嘉　幸　宏	〒 900-0031	那覇市若狭3－15－1	
	(098)868-8674	(098)861-1961	昭和 50 年 5 月 15 日	9001:2000（H14 年 10 月 21 日）
	enahaden@nahadenkou.co.jp		http://www.nahadenkou.co.jp/	
南光開発　株式会社	玉　城　功　佳	〒 902-0075	那覇市国場1185－6	
	(098)855-7819	(098)855-7829	昭和 63 年 5 月 26 日	
	nanko@lime.ocn.ne.jp			
南西空調設備　株式会社	久　高　将　泰	〒 900-0004	那覇市銘苅1－10－12	
	(098)864-1125	(098)864-1126	昭和 47 年 12 月 11 日	9001:2000（H15 年 10 月 29 日）
	nansei@mco.ne.jp			
南西電設　株式会社	親　泊　政　夫	〒 901-2126	浦添市宮城 6-21-5	
	(098)878-3576	(098)878-3847	昭和 49 年 1 月 17 日	9001:2000（H15 年 7 月 14 日）
	info@nanseidc.co.jp		http://www.nanseidc.co.jp/	
南部電工　株式会社	石　川　俊　三	〒 901-0305	糸満市西崎町5－6－20	
	(098)994-2607	(098)992-3026	昭和 56 年 7 月 2 日	9001:2000（H14 年 3 月 28 日）
	okinawa@nanbudenkou.co.jp		http://www.nanbudenko.co.jp/	
株式会社　西原環境おきなわ	友　野　貴　康	〒 900-0004	那覇市銘苅 2 丁目 5 番 28 号	
	(098)862-8522	(098)861-0698	平成 19 年 4 月 2 日	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕	日進電気土木　株式会社	川　満　建　助	〒 900-0002	那覇市曙1－6－15	
		(098)863-2784	(098)863-2723	昭和 32 年 5 月 1 日	
		ndk-k@ryucom.ne.jp			
	比嘉工業　株式会社	新　里　孝　夫	〒 900-0015	那覇市久茂地2－24－7	
		(098)951-1534	(098)951-0723	昭和 31 年 9 月 1 日	
		info@higa-kogyo.jp		http://www.higa-kogyo.jp/	
	光通信工業　株式会社	島　袋　　剛	〒 901-2131	浦添市牧港5－4－10	
		(098)878-5111	(098)870-1092	昭和 45 年 4 月 1 日	
		kinjyou025@hikari-t.co.jp		http://www.hikari-t.co.jp/	
	光電気工事　株式会社	金　城　正　司	〒 901-2214	宜野湾市我如古408－1	
		(098)898-4111	(098)897-1299	昭和 28 年 6 月 30 日	9001:2000（H15 年 10 月 17 日）
		yakuinshitsu@hikari-dk.co.jp		http://www.hikari-dk.co.jp	
	有限会社　日向工業	宜野座　清　徳	〒 903-0802	那覇市首里大名町1－346	
		(098)886-2830	(098)946-5420	昭和 60 年 7 月 2 日	
		hyuga@nirai.ne.jp			
	マエダ電気工事　株式会社	真栄田一郎	〒 900-0025	那覇市壷川 1-16-11	
		(098)853-9091	(098)853-9093	昭和 38 年 09 月 01 日	
		maeda1@denkiya-no1.co.jp		http://www.denkiya-no1.co.jp/	
	株式会社　丸石設備	石　原　清　正	〒 901-2101	浦添市西原3－4－14	
		(098)878-2406	(098)876-3370	昭和 49 年 1 月 17 日	
		maruishi@vega.ocn.ne.jp			
	有限会社　三崎工業	知　念　　宏	〒 903-0802	那覇市首里大名1ー161ー1（106）	
		(098)876-2056	(098)876-6738	昭和 57 年 9 月 1 日	
		misakikg@nirai.ne.jp		http://w1.nirai.ne.jp/misakikg/	
	合資会社　明光電気	仲　村　　彰	〒 900-0025	那覇市壷川1－12－3	
		(098)833-3068	(098)833-1849	昭和 37 年 3 月	
		meikou-denki@nirai.ne.jp			
	ヤシマ工業　株式会社	仲　田　一　郎	〒 900-0033	那覇市久米2－16－25	
		(098)863-2191	(098)863-2247	昭和 36 年 5 月 10 日	9001:2008（H20 年 7 月 1 日） 14001:2004（H20 年 11 月 10 日）
		ysmoffice@yashima-kogyo.com		http://www.yashima-kogyo.com/	
	株式会社　山川電気	山　川　光　雄	〒 902-0075	那覇市識名 2-15-15（101 号）	
		(098)987-1420	(098)987-1418	昭和 44 年 4 月 1 日	
		yama-d.nz@car.ocn.ne.jp		http://www.yamadenki.co.jp/	
	株式会社　琉球エンジニア	宇　久　村　栄	〒 901-2127	浦添市屋富祖3－33－2	
		(098)877-2146	(098)877-2365	昭和 42 年 4 月 1 日	
	琉球通信工事　株式会社	外　間　元　三	〒 902-0067	那覇市安里3－4－12	
		(098)867-4111	(098)867-4113	昭和 44 年 6 月 4 日	14001:1996（H14 年 4 月 12 日） 9001:2000（H15 年 8 月 29 日）
		hokama-g@ryutuko.co.jp		http://www.ryutuko.co.jp/	
	琉穂建設工業　株式会社	由　浅　　太	〒 902-0075	那覇市国場907番地	
		(098)834-2082	(098)870-1774	昭和 54 年 11 月 1 日	
		urasoe@ryusui-k.com		http://www.ryusui-k.com/	
	株式会社　和高建設工業	具　志　　清	〒 901-0156	那覇市田原4－5－2	
		(098)852-1733	(098)858-0902	昭和 44 年 1 月 1 日	9001:2008（H24 年 4 月 5 日） 14001:2004（H24 年 4 月 5 日）
		wako_gr@yahoo.co.jp		http://www.wako-oki.com/	
〔中部地区〕	株式会社　東江電気工事	東　江　清　隆	〒 904-0204	嘉手納町水釜6－5－18	
		(098)956-2298	(098)956-9588	昭和 49 年 12 月 9 日	
		info@agariedenkikouji.com		http://www.agariedenkikouji.com/	
	株式会社　アメニス空調	嘉手納　良　則	〒 904-2174	沖縄市与儀3丁目18－18	
		(098)933-8610	(098)933-8616	平成 2 年 11 月 1 日	
		amenis@cyber.ocn.ne.jp			

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔中部地区〕					
	有限会社　大謝名電工	山　城　克　己	〒 901-2216	宜野湾市字佐真下 40	
		(098)897-4806	(098)897-9630	昭和 42 年 6 月 27 日	
	株式会社　おきさん	富　永　　進	〒 904-0202	嘉手納町字屋良1022	
		(098)956-2288	(098)956-8893	昭和 28 年 7 月 28 日	
		kouji@okisan.co.jp			
	株式会社　機電工業	新　城　昌　人	〒 901-2223	宜野湾市大山7－3－19	
		(098)898-6866	(098)897-6821	昭和 55 年 5 月 6 日	
		kiden@h5.dion.ne.jp			
	株式会社　宜野湾電設	仲　村　　明	〒 901-2205	宜野湾市赤道2－20－2	
		(098)892-4303	(098)892-4388	昭和 46 年 10 月	9001:2000（H14 年 10 月 2 日）
		soumubu@ginowandensetsu.com			
	有限会社　クラウン工業	荒　海　宣　雄	〒 904-2165	沖縄市宮里2丁目22－22	
		(098)939-4343	(098)939-4345	昭和 50 年 7 月 23 日	9001:2000（H15 年 12 月 26 日）
		kuraun@ii-okinawa.ne.jp			
	三協電設　株式会社	島　袋　吉　充	〒 904-2174	沖縄市字与儀1210	
		(098)932-2315	(098)932-7711	昭和 52 年 7 月 27 日	
		sankyo-d@arion.ocn.ne.jp			
	三建設備　株式会社	宮 里　真 由 美	〒 904-0035	沖縄市南桃原4－33－3	
		(098)932-3629	(098)932-6514	昭和 47 年 4 月 20 日	9001:2000（H15 年 12 月 24 日）
		sanken-s@gray.plala.or.jp			
	重信電気工事　株式会社	長　嶺　　禎	〒 904-0012	沖縄市安慶田1－24－31	
		(098)937-2534	(098)937-7951	昭和 35 年 6 月 1 日	
		sdmail@shigenobu.co.jp		http://www.shigenobu.co.jp/	
	有限会社　真栄工業	真 栄 城　兼 宜	〒 904-0105	北谷町字吉原271－1	
		(098)936-1911	(098)936-2047	昭和 51 年 6 月 1 日	9001:2000（H15 年 12 月 18 日）
		sin-ei-t@ryucom.ne.jp			
	株式会社　真和電工	池　宮　拓　治	〒 904-2233	うるま市字豊原578－1	
		(098)974-0202	(098)974-0627	昭和 56 年 6 月 1 日	9001:2000（H17 年 11 月 16 日）
		shinwa-d@smile.ocn.ne.jp			
	中部電水工事　株式会社	當　山　全　信	〒 901-2201	宜野湾市新城1－4－15	
		(098)988-1291	(098)893-2527	昭和 54 年 1 月 24 日	
		h-chuden@mco.ne.jp			
	有限会社　津城電気工事	呉　屋　　賢	〒 901-2413	中城村字津覇545	
		(098)895-4416	(098)895-2936	昭和 54 年 10 月 20 日	
	株式会社　テクノ工業	下　地　　稔	〒 904-2161	沖縄市古謝 3-26-11	
		(098)938-0262	(098)938-0166	平成 2 年 8 月 10 日	9001:2008（H22 年 6 月 09 日） 14002008（H22 年 6 月 09 日）
		techno@tune.ocn.ne.jp		http://www.technokogyo-okinawa.com/	
	デルタ電気工業　株式会社	新　垣　秀　信	〒 901-2214	宜野湾市我如古2－36－15	
		(098)897-0513	(098)898-6561	昭和 44 年 7 月 1 日	9001:2000（H15 年 8 月 19 日）
		info@deltaoki.net			
	東洋電気工事　株式会社	柴　引　清　保	〒 904-2165	沖縄市宮里3－8－37	
		(098)937-4445	(098)937-4777	昭和 41 年 7 月 1 日	9001:2000（H14 年 7 月 31 日）
		toyo@tydenki.com			
	合資会社　中江電気建設	中　江　園　子	〒 904-2221	うるま市字平良川149番地	
		(098)973-3380	(098)973-2770	昭和 31 年 4 月 1 日	
		info@nakae-oki.co.jp			
	株式会社　日本電設	下　地　　晶	〒 901-2226	宜野湾市嘉数2－12－1	
		(098)897-4444	(098)897-1976	昭和 47 年 5 月 8 日	
		nichiden@thcia.ocn.ne.jp			

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔中部地区〕	株式会社　比謝川電気	村　山　博　子	〒 904-0203	嘉手納町字嘉手納284	
		(098)956-2253	(098)956-7904	昭和 37 年 6 月 7 日	
		hiden-ho@jeans.ocn.ne.jp			
	不二宮工業　株式会社	宮　城　　剛	〒 901-2203	宜野湾市野嵩2丁目2－7	
		(098)893-0446	(098)935-5771	昭和 45 年 10 月 1 日	
		f-k@fujimiya-k.co.jp			
	有限会社 ヤマウチ設備	山　内　　聰	〒 901-2314	北中城村字大城440－1	
		(098)935-4768	(098)935-2334	昭和 61 年 11 月 14 日	9001:2000（H16 年 10 月 20 日）
		yama001@m1.cosmos.ne.jp			
	株式会社　琉建工業	渡　口　彦　武	〒 904-0203	嘉手納町字嘉手納479－4	
		(098)956-8860	(098)956-8961	昭和 50 年 2 月 21 日	
		office@ryuken-kogyo.co.jp			
	ワールド電気産業　有限会社	中　江　　均	〒 904-0203	嘉手納町字嘉手納 289 －1F	
		(098)956-0008	(098)975-6178	平成 7 年 2 月 22 日	
〔北部地区〕	有限会社　上宏工業	外　間　宏　正	〒 905-0411	今帰仁村字天底86	
		(0980)56-2999	(0980)56-4857	昭和 63 年 10 月 11 日	9001:2000（H16 年 11 月 7 日）
		uehiro@oregano.ocn.ne.jp			
	株式会社　名護電水センター	岸　本　稲　子	〒 905-0017	名護市大中1－18－26	
		(0980)52-2813	(0980)53-6994	昭和 43 年 9 月 1 日	9001:2000（H16 年 10 月 18 日）
	有限会社　宮里電気	宮　里　徳　彦	〒 905-1147	名護市字田井等391	
		(0980)58-1437	(0980)58-2330	昭和 47 年 4 月	
〔宮古地区〕	株式会社　朝日建設工業	狩　俣　政　吉	〒 906-0007	宮古島市平良字東仲宗根821－10	
		(0980)72-7636	(0980)73-4378	昭和 49 年 5 月 31 日	
	有限会社　いなみ電気	伊　波　一　徳	〒 906-0013	宮古島市平良字下里550－1	
		(0980)72-2507	(0980)73-1089	昭和 40 年 5 月 1 日	
		inami02@tontonme.ne.jp			
	株式会社　川田電設産業	渡 真 利　　剛	〒 906-0012	宮古島市平良字西里1332－7	
		(0980)72-9793	(0980)72-1874	昭和 47 年 3 月 25 日	14001:1996（H15 年 12 月 09 日）
	有限会社　久貝電設土木	久　貝　久　雄	〒 906-0506	宮古島市伊良部字長浜 190-1	
		(0980)78-3549	(0980)78-5436	昭和 42 年 10 月	
		hk-denki@miyako-ma.jp			
	株式会社　下崎工事社	狩　俣　榮　吉	〒 906-0007	宮古島市平良字東仲宗根496－18	
		(0980)72-8601	(0980)72-8602	昭和 40 年 5 月 10 日	
	株式会社　パイオニア	高　里　　涼	〒 906-0015	宮古島市平良字久貝819－11	
		(0980)72-1526	(0980)72-8388	昭和 54 年 9 月	14001:1996（H15 年 12 月 09 日）
		m.paionia@titan.ocn.ne.jp			
	有限会社　松宮開発	根　間　松　造	〒 906-0013	宮古島市平良字下里1338－3	
		(0980)73-0391	(0980)73-9080	昭和 56 年 4 月 1 日	
		matsumiya@eagle.ocn.ne.jp			
	株式会社　丸秀	伊 良 皆　　榮	〒 906-0007	宮古島市平良字東仲宗根350	
		(0980)72-3396	(0980)72-9200	昭和 44 年 4 月 1 日	
		maruhide@mocha.ocn.ne.jp			
	三成技建　株式会社	平　良　玄　文	〒 906-0012	宮古島市平良字西里895－3	
		(0980)73-1995	(0980)72-6215	昭和 50 年 2 月 21 日	
		minase@m1.cosmos.ne.jp			

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔宮古地区〕	有限会社　宮古電水土木	砂　川　一　範	〒 906-0015	宮古島市平良字久貝1060－7	
		(0980)73-2651	(0980)72-1237	昭和 49 年	
		densui@miyako-net.ne.jp			
	有限会社　吉田産業	上　里　明　通	〒 906-0012	宮古島市平良字西里 1331-16	
		(0980)72-1661	(0980)72-4086	昭和 50 年 1 月 1 日	
		yosidas1@ruby.ocn.ne.jp		http://www.yoshidasangyou.com/	
〔八重山地区〕	株式会社　共和	大　底　京　子	〒 907-0002	石垣市真栄里307番地の1	
		(0980)82-2283	(0980)82-4765	昭和 43 年 10 月 1 日	
		kyowa@woody.ocn.ne.jp		http://i-kyowa.com/	
	株式会社　佐久本商会	佐　久　本　肇	〒 907-0014	石垣市新栄町50－5	
		(0980)82-5859	(0980)82-6141	昭和 40 年 6 月 10 日	
	株式会社　三光電設	粟　盛　　卓	〒 907-0003	石垣市字平得212	
		(0980)82-3836	(0980)83-2047	昭和 46 年 9 月 11 日	
	株式会社　紫電舎	新 城　永 一 郎	〒 907-0002	石垣市字真栄里375－8	
		(0980)82-4811	(0980)83-1409	昭和 47 年 2 月 11 日	
		siden1@ceres.ocn.ne.jp			
	有限会社　昭電工業	砂　川　一　晃	〒 907-0004	石垣市字登野城580－9	
		(0980)82-7697	(0980)83-8908	平成 6 年 12 月 6 日	
	株式会社　新生	生　盛　栄　治	〒 907-0003	石垣市字平得90－7	
		(0980)82-3938	(0980)82-1852	昭和 52 年 12 月 20 日	
		sinsei11@io.ocn.ne.jp			
	有限会社　東洋工業	後 上 里　洋 一	〒 907-0022	石垣市字大川1367－1	
		(0980)82-8289	(0980)82-8241	昭和 57 年 11 月 29 日	
	有限会社　仲野電設	仲　野　雅　春	〒 907-0023	石垣市字石垣 731-12	
		(0980)-83-9657	(0980)-83-9636	平成 10 年 6 月 15 日	
		inakano-d@axel.ocn.ne.jp			
	株式会社　南西工業	山　田　　修	〒 907-0002	石垣市真栄里245－7	
		(0980)82-2716	(0980)82-6469	昭和 47 年 5 月 15 日	
	株式会社　日建興業	後　上　里　悟	〒 907-0024	石垣市字新川2460－16	
		(0980)82-9562	(0980)83-2959	昭和 37 年 6 月 26 日	
	株式会社　八電工	嵩　原　　督	〒 907-0004	石垣市字登野城1004	
		(0980)82-2825	(0980)83-0008	昭和 46 年 1 月 26 日	
		yaedenko@galaxy.ocn.ne.jp			
	株式会社　砂盛工業	砂　盛　盛　栄	〒 907-0014	石垣市新栄町 71-3	
		(0980)82-1125	(0980)82-8731	昭和 54 年 5 月	
		sunamori@lime.ocn.ne.jp			

会員名簿《賛助会員》

〔賛助会員〕	株式会社　アサヒ	福　重　　勉	〒 900-0012	那覇市泊2丁目1番地11	
		(098)862-8111	(098)863-3044	昭和 45 年 4 月 1 日	
				http://www.kkasahi.co.jp/	
	株式会社　安謝鋳物商事	仲 宗 根　重 幸	〒 901-2104	浦添市当山1－3－8	
		(098)877-7880	(098)876-4537	昭和 48 年 10 月 30 日	
	沖縄環境企画　株式会社	大　城　安　世	〒 902-0074	那覇市字仲井真107	
		(098)831-9939	(098)947-3111	昭和 57 年 8 月 27 日	
		o_kikaku@dl.dion.ne.jp			

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦ FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO（取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔賛助会員〕

②会社名				
沖縄ガス　株式会社	我那覇　力蔵	〒900-8605	那覇市西3－13－2	
	(098)863-7730	(098)863-7748	昭和 33 年 7 月 22 日	
	honsya@okinawagas.co.jp		http://www.okinawagas.co.jp/	
株式会社　沖縄多久パイプ プレファブ加工センター	百　武　新　一	〒904-2234	うるま市字州崎7番地27	
	(098)921-0571	(098)921-0573	平成 20 年 11 月 6 日	
沖縄電力　株式会社	大　嶺　　滿	〒901-2602	浦添市牧港5－2－1	
	(098)877-2341	(098)878-3842	昭和 47 年 5 月 15 日	
沖縄ニッタン　株式会社	山　里　秀　夫	〒900-0001	那覇市港町2－14－4	
	(098)861-1764	(098)861-1767	昭和 53 年 7 月 28 日	
	onksakai@southernx.ne.jp			
沖縄三菱電機販売　株式会社	肥　後　通　人	〒901-2223	宜野湾市大山7－12－1	
	(098)898-1111	(098)898-0303	昭和 44 年 2 月 10 日	9001:2000（H16 年 1 月 27 日）
	miyagi-akira@oki.mellife.co.jp			
合資会社　金城商会	金　城　憲　明	〒900-0032	那覇市松山2－29－8	
	(098)867-1010	(098)868-2396	昭和 27 年 1 月 30 日	
株式会社　金城電気商会	金　城　　寛	〒900-0012	那覇市泊1－6－7	
	(098)867-3166	(098)867-3928	昭和 28 年 4 月	
ダイキンＨＶＡＣソリューション 沖縄　株式会社	岸　本　直　也	〒901-0155	那覇市金城5－3－4	
	(098)859-4154	(098)859-4163	平成 1 年 11 月 28 日	
	dkokinawa@daikin.co.jp		http://kuhan.air.daikin.co.jp/okinawa/	
有限会社　東洋商会	能 勢　三 喜 男	〒900-0036	那覇市西2－8－1	
	(098)861-1040	(098)868-9801	昭和 37 年 11 月 12 日	
長嶺電機　株式会社	長　嶺　義　貢	〒901-2134	浦添市字港川512－28	
	(098)878-2121	(098)878-7222	昭和 41 年 3 月 5 日	
	ndc_ei@hotmail.com			
光電気産業　株式会社	金 城　浩 一 郎	〒901-2131	浦添市牧港 5-4-10　光牧港 BLD	
	(098)877-5211	098-878-5215	昭和 45 年 10 月 1 日	
福山商事　株式会社	福　山　　一　郎	〒901-2556	浦添市牧港4丁目14番17号	
	(098)876-1111	(098)876-4094	昭和 26 年 11 月 15 日	
	soumu@fukuyamacorp.co.jp			
マルヰ産業　株式会社	根 本　有 二 郎	〒900-0002	那覇市曙2－25－24	
	(098)861-1661	(098)863-3514	昭和 39 年 12 月 8 日	
	marui@oki-maruisangyou.co.jp		http://www.oki-maruisangyou.co.jp/	
株式会社　丸福	濱　元　貞　雄	〒901-2122	浦添市勢理客3－3－13	
	(098)878-8412	(098)876-5776	昭和 25 年 4 月 1 日	
株式会社　ゆにてっくす	石　原　昌　司	〒903-0116	西原町字幸地1081	
	(098)944-6608	(098)944-6609	昭和 57 年 2 月 22 日	
	info@oki-unitex.jp		http://www.unitex.okinawa	
株式会社　琉球テクノ産業	大　濱　孫　周	〒904-0413	恩納村字冨着949－1	
	(098)942-9190	(098)942-9191	平成 6 年 12 月 20 日	
	info@oki-unitex.jp		http://www.unitex.okinawa/	

事務局日誌

（令和元年８月～令和２年１月迄）

【８月】

1日（木）・第6回沖縄建設産業親睦ゴルフコンペ（小谷専務、知念課長）
・電気使用安全月間広報パレード出発式（親泊副会長）

2日（金）・建設産業親睦ゴルフコンペ表彰式（小谷専務、知念課長）

5日（月）・地域別産学懇談会（沖縄地区）（山内理事）

6日（火）・定例執行部会
・日空衛全国会議実行委員会
・地域別産学懇談会（宮古地区）（渡真利理事）

7日（水）・第1回担い手確保・育成委員会
・第3回青年部幹事会
・地域別産学懇談会（八重山地区）（後上里理事）

8日（木）・第2回政策委員会
・西日本建設業保証㈱来会（松島会長）
・地域別産学懇談会（那覇地区）（山川副会長）

20日（火）・定例執行部会
・第３回理事会
・日空衛全国会議実行委員会

21日（水）・新那覇市立病院要請
・第4回おきなわ建設フェスタ幹事会（小谷専務）
・沖縄総合事務局 営繕課打ち合わせ（青年部新垣部会長、知念課長）

22日（木）・第608回電管グリーン
・沖縄県との意見交換会

23日（金）・電気安全・使用合理化委員会（委任）

26日（月）・沖縄県立美里工業・南部工業高校教諭との意見交換会

28日（水）・おきなわ建設フェスタ3団体会議
・道路クリーン作戦（八重山地区）
・道路クリーン作戦（宮古地区）

29日（木）・日空衛全国会議現地打ち合わせ（日空衛本部、JTB、実行委員会）
・道路クリーン作戦（中・北部地区）

30日（金）・青年部チャリティゴルフ大会

【９月】

2日（月）・定例執行部会
・日空衛全国会議実行委員会

3日（火）・（一社）日空衛 九州支部第2回役員会　福岡於（比嘉副会長）

5日（木）・(一社)日空衛全国事務局代表者会議　東京於（小谷専務、知念課長）
・建設雇用改善事業推進会議（松島会長）

12日（木）・昇降機研修　東京於（中村みのり担当）
・おきなわ建設フェスタ（沖電工・沖電工組）打ち合わせ

13日（金）・(一社) 日本電設工業協会理事会　東京於（松島会長）
・1級電気工事施工管理受験実地講習会（電管協於）

17日（火）・定例執行部会
・日空衛全国会議実行委員会

18日（水）・（一社）日本空調衛生工事業協会理事会（比嘉副会長）

19日（木）・第609回電管グリーン

24日（火）・沖縄社会福祉協議会　青年部チャリティゴルフ寄附金贈呈式
・第4回青年部幹事会

26日（木）・全国建設業労働災害防止大会　福岡於（松島会長）

27日（金）・「アサヒゴルフ大会2019」始球式（山川副会長）
・おきなわ建設フェスタ9月幹事会（小谷専務）

29日（日）・沖縄都市モノレール開業式・試乗会（松島会長）

30日（月）・那覇市要請（執行部）

【10月】

1日（火）・定例執行部会
・日空衛全国会議実行委員会

2日（水）・第2回日空衛全国会議青年部スタッフ会議

4日（金）・電管協 平和祈念公園ボランティア清掃（平和の礎）

8日（火）・定例執行部会
・第4回理事会
・日空衛全国会議実行委員会

9日（水）・第3回日空衛全国会議青年部スタッフ会議
・沖縄県産業安全衛生大会（中村相談役）

10日（木）・（一社）日本電設工業会員大会（仙台於）（松島会長、親泊副会長）

11日（金）・公共事業労務費調査説明会

15日（火）・定例執行部会
・日空衛全国会議実行委員会
・日空衛全国会議司会 宮城氏との打ち合わせ

16日（水）・おきなわ建設フェスタ10月幹事会（小谷専務）

17日（木）・第610回電管グリーン

18日（金）・西日本保証会社レクチャー（松島会長）

19日（土）・宮崎政久議員との面談（執行部）

21日（月）・日空衛全国会議実行委員会

23日（水）・(一社) 日本空調衛生工事業協会全国会議（沖縄　ラグナガーデン於）

24日（木）・日空衛全国会議 記念旅行、記念ゴルフ
・第27回防衛セミナー

29日（火）・青年部幹事会

31日（木）・おきなわ建設フェスタ会議（電管協於）
・建築士事務所協会ゴルフコンペ

【11月】
1日（金）・ジョブエンジン スタジオ収録（知念課長）
5日（火）・定例執行部会
7日（木）・設備設計事務所協会九州沖縄ブロック大会懇親会（松島会長）
同　上　記念ゴルフコンペ
10日（日）・第4回おきなわ建設フェスタ（県総合運動公園）
13日（水）・那覇市立病院　市議会議長陳情（執行部）
14日（木）・第2回運営広報委員会
・しまたてヒアリング（小谷専務）
15日（金）・「建設業の若者を定着させる働き方改革の理論と実践」研修会　講師：廣津榮三郎
18日（月）・第2回安全対策委員会
19日（火）・定例執行部会
・「天皇陛下御即位奉祝沖縄県実行委員会」発令式（親泊副会長）
20日（水）・（一社）日空衛理事会（比嘉副会長）
・電気保安功労者表彰式・祝賀会（松島会長）
・沖縄県省エネ住宅普及推進協議会　運営委員会（小谷専務）
21日（木）・第611回電管グリーン
22日（金）・沖縄電気安全・使用合理化委員会（松島会長）
・琉球通信工事（株)創立50周年祝賀（松島会長、小谷専務）
23日（土）・第64次設備士試験監督（空調）（小谷専務、知念課長）
24日（日）・〃（衛生）（小谷専務、知念課長）
25日（月）・琉大堤教授へお礼挨拶
26日（火）・年末調整説明会（比嘉京子担当）
28日（木）・沖縄労働局長からの要請（松島会長）
・沖縄建設新聞　株主総会（小谷専務）
30日（土）・琉球大学病院長との面談（松島会長、比嘉副会長、小谷専務、知念課長）

【12月】
5日（木）・定例執行部会・事務局忘年会
6日（金）・建産連第1回専務理事（事務局長）会議（小谷専務）
10日（木）・定例執行部会
・第5回理事会
・第2回担い手確保・育成委員会
11日（水）・災害協定説明会（那覇・南部）
12日（木）・災害協定説明会（中部）
・青年部忘年会
13日（金）・災害協定説明会（北部）
16日（月）・職業能力開発協会との打ち合わせ（小谷専務、知念課長）
19日（木）・第612回電管グリーン
20日（金）・電管協　安全衛生大会
23日（月）・災害協定説明会（宮古）
24日（火）・災害協定説明会（八重山）
25日（水）・新春会長対談（松島会長、小谷専務、知念課長）
26日（木）・西日本建設業保証面談（松島会長）
27日（金）・仕事納め

【1月】
6日（月）・仕事始め
・那覇市新年賀詞交歓会（執行部）
7日（火）・（一社）沖縄県建設業協会新年賀詞交歓会（松島会長）
9日（木）・琉球新報へ寄付金贈呈（執行部）
14日（火）・執行部官公庁年始挨拶廻り（執行部、事務局）
15日（水）・（一社）日本空調衛生工事業協会理事会（委任）
16日（木）・第613回電管グリーン
21日（火）・定例執行部会
23日（木）・電管協新年賀詞交歓会
24日（金）・安全パトロール（中部・北部地区）
26日（火）・安全パトロール（那覇・南部地区）

電管協会報

令和２年（2020）１月31日発行　第74号

発行所／(一社)沖縄県電気管工事業協会
発行人／松島　寛行

〒900-0036　沖縄県那覇市西３－４－５
電話 098-868-8400　FAX 098-868-8224

運営・広報委員会

委員長　親泊政夫

副委員長　小波津　聰　委員　大嶺　克成
委員　山内　聰　委員　中江　均
専務理事　小谷　和幸　事務局　知念　徹

嘱　託　㈱沖縄建設新聞編集部

編集協力／㈱沖縄建設新聞　〒900-0012　那覇市泊３－５－６
電話（098）867-1290／FAX（098）868-1275

印刷／(資)精印堂印刷
電話(098)832－1311

電気の子メーターをご使用の皆様へ

電気の子メーターは

有効期限があります。検定ラベル・検定票を確認してください。

検定※1に合格したもの

検定証

旧（平成28年3月まで）

有効期限
平成38年3月末です。

新（平成28年4月以降）

有効期限
表示はありません。

検定ラベル

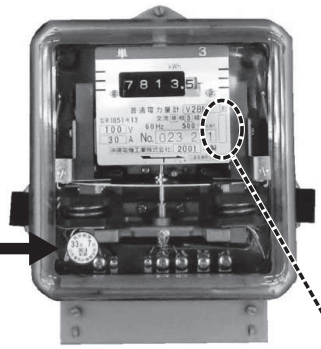
※3

※4

※5

※3　平成23年　3月まで（有効期限は和暦表記）
※4　平成30年12月まで（有効期限は和暦表記）
※5　平成31年　1月以降（有効期限は西暦表記）

※1　日本電気計器検定所が行います。



単独計器

自主検査※2に合格したもの

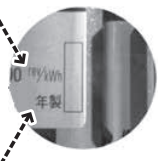
基準適合ラベル

旧

新

封印キャップ

※2　指定製造事業者が行います。



子メーター
管理人側が
検定又は自主検査を
受けて取り付けます。

電力メーター
電力会社が
検定又は自主検査を
受けて取り付けます。

変成器付計器の有効期限は検定票で表示しています。

検定証印

旧

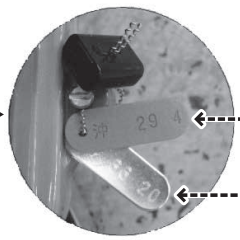
現行

検定票（有効期限は、和暦又は西暦で表示されています。）

○ 沖 37 7	○ 2026 1

有効期限
左側「平成37年7月末」、右側「2026年1月末」の表示

変成器付計器



検定票
ファイバー製（検定番号）
黄銅製（合番号）

変成器付計器の場合,小判形のファイバー製（検定番号の刻印）と黄銅製（合番号の刻印）の2種類の検定票が付けられています。

・ファイバー製　有効期限は、和暦（2桁）又は西暦（4桁）表示で　茶色：7年　灰色：5年

表面 ○ 沖 37 7
○ 2026 1
有効期限
上側「平成37年7月末」の表示
下側「2026年1月末」の表示

裏面 ○ 沖 01234
検定番号が刻印されています。
初回検定時は、検定番号と合番号は同じです。
※有効期限ではありません。

・黄銅製

表面 ○ 沖 01234　計器と変成器の組み合わせ番号

裏面 ○ 沖 30 7
○ 2019 1
検査合格年月
上側「平成30年7月」の表示
下側「2019年1月」の表示

※平成31年以降の和暦の有効期限表示は、改元前の和暦に対応する西暦に読み替えてください。

証明用電気計器（子メーター）は、公的機関を含むビル内のテナント、アパート、貸ビル、寮、社宅等で、電気料金の配分証明に用いられるものの他、**太陽光発電・風力発電等に使用されている売電用のメーターも対象です。**

☆検定に合格し、有効期限内のメーターでないと使用できません。（計量法第16条）
☆国、都道府県知事又は特定市町村の長の立入検査等があります。（計量法第148条）

※子メーターの検定有効期限確認のための立入検査は行政機関（沖縄県計量検定所、那覇市市民文化部市民生活安全課）自身によって行われます。
※民間その他の機関が経済産業省や日本電気計器検定所の指導や委託等を受けて調査や立入検査を行うことはありません。

子メーターの検定を受けるには、受検代行を行っている修理業者をご利用になると便利です。子メーターの取替えには、現在使っているメーターを、修理し使用する場合、検定済計器と交換して使用する場合のいずれかとなります。
ご質問等がございましたら、内容ごとに裏面の「お問い合わせ先一覧」をご参照の上、ご相談ください。